		授美	業計画(シラル	バス)			
科目	目名	就職実務Ⅰ		指導担当者名	就職担当		
実務	経験				実務経験:		
開講	時期	通年 前期・後期	対象学	科学年	全学科1年		
授業	方法	講義:○	演習:	実習:	実技:		
時間	『数	通年28時間	週時間数		1時間		
学習到	達目標	就職活動を始める前の準備(自己理解	、就きたい職業の決	定)ができる。			
評価方法 評価基準		授業態度、提出物等					
使用	教材	動画教材 SUCCESS					
授業が	卜学習 5法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて	「将来自分のなりたい	姿を常に考える事			
				内容-準備資料等			
学期	ターム	項目		内谷 华	備資料等		
学期	ターム 1	項目 オリエンテーション	自己紹介(発表)		偏食科等 マインドマップ)【宿】働く意義を	考える	
学期					マインドマップ)【宿】働く意義を	考える	
学期	1	オリエンテーション	宿題の振り返り、	なぜ就職するのか(マ	マインドマップ)【宿】働く意義を	き考える	
学期	1 2	オリエンテーション 就職活動の心構え	宿題の振り返り、 は 5-1 [~] 5-1(実践編)	なぜ就職するのか(なぜ就職するのか【宿り 身だしなみ、企業がな	マインドマップ)【宿】働く意義を		
学期	1 2 3	オリエンテーション 就職活動の心構え 就職活動での身だしなみ、企業が求める人材と	宿題の振り返り、 は 5-1~5-1(実践編 就職内定までの	なぜ就職するのか(なぜ就職するのか【宿り 身だしなみ、企業がな	マインドマップ)【宿】働く意義を 】好印象な服装 RXめる人材を捉える 二年間をスケジューリングする		
学期	1 2 3 4	オリエンテーション 就職活動の心構え 就職活動での身だしなみ、企業が求める人材と 就職活動の流れ	宿題の振り返り、は 5-1~5-1(実践編 就職内定までの 自己分析①小学	なぜ就職するのか【宿なぜ就職するのか【宿り 身だしなみ、企業が表流れを把握し、自分のこ	マインドマップ)【宿】働く意義を 】好印象な服装 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、		
授	1 2 3 4 5	オリエンテーション 就職活動の心構え 就職活動での身だしなみ、企業が求める人材と 就職活動の流れ 自分自身を知る	宿題の振り返り、は 5-1~5-1(実践編 就職内定までの 自己分析①小学	なぜ就職するのか【宿なぜ就職するのか【宿り 身だしなみ、企業が表流れを把握し、自分の二校から高校時代までの	マインドマップ)【宿】働く意義を 】好印象な服装 、ためる人材を捉える 二年間をスケジューリングする 自分史を作成する		
授業計	1 2 3 4 5 6	オリエンテーション 就職活動の心構え 就職活動での身だしなみ、企業が求める人材と 就職活動の流れ 自分自身を知る 自分自身を知る	宿題の振り返り、は 5-1~5-1(実践編 就職内定までの 自己分析①小学 自己分析②現在 自己分析③現在	なぜ就職するのか(でなぜ就職するのか) (宿かり) 身だしなみ、企業が表流れを把握し、自分のこせから高校時代までのの自分史を作成する	マインドマップ)【宿】働く意義を 】好印象な服装 、ためる人材を捉える 二年間をスケジューリングする 自分史を作成する		
授業計画	1 2 3 4 5 6	オリエンテーション 就職活動の心構え 就職活動での身だしなみ、企業が求める人材と 就職活動の流れ 自分自身を知る 自分自身を知る	宿題の振り返り、は 5-1~5-1(実践編 就職内定までの 自己分析①小学 自己分析②現在 自己分析③現在 自分史を参考に	なぜ就職するのか(でなぜ就職するのか) (宿かけれる) 身だしなみ、企業が対流れを把握し、自分のご校から高校時代までのの自分史を作成する	マインドマップ)【宿】働く意義を 】好印象な服装 求める人材を捉える 二年間をスケジューリングする 自分史を作成する 基礎編 進化編		
授業計	1 2 3 4 5 6 7 8	オリエンテーション 就職活動の心構え 就職活動での身だしなみ、企業が求める人材と 就職活動の流れ 自分自身を知る 自分自身を知る 自分自身を知る 自己PR文作成	宿題の振り返り、は 5-1~5-1(実践編 就職内定までの 自己分析①小学 自己分析②現在 自己分析③現在 自力分を参考に クラス内で自己F	なぜ就職するのか(なぜ就職するのか【宿) 身だしなみ、企業が対流れを把握し、自分の立校から高校時代までのの自分史を作成する。の自分史を作成する。自己PR文を作成する	マインドマップ)【宿】働く意義を 】好印象な服装 、ためる人材を捉える 二年間をスケジューリングする 自分史を作成する 基礎編 進化編		
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8 9	オリエンテーション 就職活動の心構え 就職活動での身だしなみ、企業が求める人材と 就職活動の流れ 自分自身を知る 自分自身を知る 自分自身を知る 自己PR文作成 自己PR発表	宿題の振り返り、は 5-1~5-1(実践編 就職内定までの 自己分析①小学 自己分析②現在 自己分析③現在 自力分を参考に クラス内で自己F	なぜ就職するのか(なせ就職するのか【宿) 身だしなみ、企業が表流れを把握し、自分の二校から高校時代までのの自分史を作成する。 の自分史を作成する。 自己PR文を作成する。 Rを発表し、互いのいし	マインドマップ)【宿】働く意義を 】好印象な服装 、ためる人材を捉える 二年間をスケジューリングする 自分史を作成する 基礎編 進化編		
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	オリエンテーション 就職活動の心構え 就職活動での身だしなみ、企業が求める人材と 就職活動の流れ 自分自身を知る 自分自身を知る 自分自身を知る 自己PR文作成 自己PR発表 職業を知る	宿題の振り返り、は 5-1~5-1(実践編 就職内定までの 自己分析①小学 自己分析②現在 自己分析③現在 自己分析③現在 自分史を参考に クラス内で自己F 自分の就きたい!	なぜ就職するのか(なぜ就職するのか【宿) 身だしなみ、企業が表流れを把握し、自分の立校から高校時代までのの自分史を作成する。自己PR文を作成する。中を発表し、互いのいし職業を考える、企業を記録を請求する。企業を記録を請求する。企業への	マインドマップ)【宿】働く意義を 】好印象な服装 、ためる人材を捉える 二年間をスケジューリングする 自分史を作成する 基礎編 進化編		
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	オリエンテーション 就職活動の心構え 就職活動での身だしなみ、企業が求める人材と 就職活動の流れ 自分自身を知る 自分自身を知る 自分自身を知る 自己PR文作成 自己PR発表 職業を知る 情報収集、企業研究、資料請求 1	宿題の振り返り、は 5-1~5-1(実践編 就職内定までの 自己分析①小学 自己分析②現在 自己分析③現在 自己分析③現在 自分史を参考に クラス内で自己F 自分の就きたい!	なぜ就職するのか(なぜ就職するのか【宿) 身だしなみ、企業が表流れを把握し、自分の立校から高校時代までのの自分史を作成する。自己PR文を作成する。中を発表し、互いのいし職業を考える、企業を記録を請求する。企業を記録を請求する。企業への	マインドマップ)【宿】働く意義を 】好印象な服装 、		
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	オリエンテーション 就職活動の心構え 就職活動での身だしなみ、企業が求める人材と 就職活動の流れ 自分自身を知る 自分自身を知る 自己PR文作成 自己PR発表 職業を知る 情報収集、企業研究、資料請求 1 情報収集、企業研究、資料請求 2	宿題の振り返り、は 5-1~5-1(実践編 就職内定までの 自己分析①小学 自己分析②現在 自己分析③現在 自己分析③現在 自分史を参考に クラス内で自己F 自分の就きたい 企業を調べ、資流きたい職業での	なぜ就職するのか(なぜ就職するのか【宿) 身だしなみ、企業が表流れを把握し、自分の立校から高校時代までのの自分史を作成する。自己PR文を作成する。中を発表し、互いのいし職業を考える、企業を記録を請求する。企業を記録を請求する。企業への	マインドマップ)【宿】働く意義を 】好印象な服装 、		
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	オリエンテーション 就職活動の心構え 就職活動での身だしなみ、企業が求める人材と 就職活動の流れ 自分自身を知る 自分自身を知る 自己PR文作成 自己PR発表 職業を知る 情報収集、企業研究、資料請求 1 情報収集、企業研究、資料請求 2 情報収集、企業研究、資料請求 3	宿題の振り返り、は 5-1~5-1(実践編 就職内定までの 自己分析①小学 自己分析②現在 自己分析③現在 自己分析③現在 自分史を参考に クラス内で自己F 自分の就きたい 企業を調べ、資流きたい職業での	なぜ就職するのか(なせ就職するのか【宿)身だしなみ、企業が表流れを把握し、自分の立 校から高校時代までのの自分史を作成する。自己PR文を作成する自己PR文を作成する。 保を発表し、互いのいし職業を考える、企業を割 はないのでは、ないのいし、 はないのでは、ないのいし、 はないのでは、ないのいし、 はないのでは、ないのいし、 はないのでは、ないのいし、 はないのでは、ないのいし、 はないのでは、ないのいし、 はないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	マインドマップ)【宿】働く意義を 】好印象な服装 、		

授業計画(シラバス)

科目	1名	就職爭	実務 I	指導担	当者名	就職担当職員
実務	経験					実務経験:
開講	時期	通年 前期・後期	対	象学科学年		全学科1年
授業	方法	講義:○	演習:	実	習:	実技:
時間	引数	通年28時間	週時間	数	1時間	
学習到	達目標	就職活動を始める前の準備(就職試験のマナーを習行	导) ができる		
	方法 基準	授業態度、提出物等				
使用	教材	動画教材 SUCCESS				
授業を		学科授業を受けて、また、この授	業を受けて将来自分のなり	たい姿を常に考える	事	
学期	ターム	項目		Þ	內容•準備資料	等
1 w 1	1	前期の振り返り、志望動機の作り	り方 1 前期に学ん	しだことを振り返り、業	界、会社にあった	た志望動機を考える
	2	志望動機の作り方 2	(実践編)	業界、会社にあった動	か機作り かんしゅう	
	2	志望動機の作り方 2 作成書類 1	3-8-3-8(5	ミ践編)、加えて3-1~3	-3(実践編)、3-6	~3-6-2まで
	_		3-8·3-8(写 履歴書、工 各種書類	ミ践編)、加えて3-1 [~] 3 ントリーシート、添え ^り き書けるように、	-3(実践編)、3-6 [°] けなど	~3-6-2まで
	3	作成書類 1	3-8・3-8(9 履歴書、エ 各種書類 また、封筒 (事務局の	に に に まけるように、 の書き方、その他のは 書類の手続き)、ポー	3(実践編)、3-6 [°] 犬など 書類	
	3	作成書類 1 作成書類 2	3-8·3-8(写 履歴書、エ 各種書類? また、封筒 (事務局の *履歴書の	に に に まけるように、 の書き方、その他のは 書類の手続き)、ポー	3(実践編)、3-6 [°] 状など 書類 -トフォリオなどの	話しもしてください。
授	3 4 5	作成書類 1 作成書類 2 作成書類 3	3-8・3-8(5) 履歴書、知 各種書類 また、封筒 (事務局の *履歴書の 5-1,5-2 芝	関機編)、加えて3-1 [~] 3 ントリーシート、添え ³ を書けるように、 の書き方、その他の ³ 書類の手続き)、ポー 完成	3(実践編)、3-6 [°] 状など 書類 -トフォリオなどの	話しもしてください。
業 計	3 4 5 6	作成書類 1 作成書類 2 作成書類 3 企業訪問	3-8・3-8(写 履歴書、エ 各種書類で また、封管 (事務局の *履歴書の 5-1,5-2 を 5-2~5-3(写	民践編)、加えて3-1 ^{~3} ントリーシート、添え ³ 注書けるように、の書き方、その他の ³ 書類の手続き)、ポー完成 生備、当日、事後の指	-3(実践編)、3-6 [°] けなど 書類 トフォリオなどの 導をしてください	話しもしてください。
業 計 画	3 4 5 6 7	作成書類 1 作成書類 2 作成書類 3 企業訪問 就職試験のマナー 1	3-8・3-8(写 履歴書、エ 各種書類で また、封筒 (事務局の *履歴書の 5-1,5-2 差 5-2~5-3(写	と践編)、加えて3-1~3 ントリーシート、添え: を書けるように、 の書き方、その他の: 書類の手続き)、ポー 完成 生備、当日、事後の指 と践編)入退室	-3(実践編)、3-6 [°] 状など 書類 -トフォリオなどの 導をしてください	話しもしてください。
業 計	3 4 5 6 7 8	作成書類 1 作成書類 2 作成書類 3 企業訪問 就職試験のマナー 1 就職試験のマナー 2	3-8・3-8(写 履歴書、エ 各種書類言また、封筒 (事務局の *履歴書の 5-1,5-2 ^並 5-2~5-3(写 5-2~5-3(写	民践編)、加えて3-1~3 ントリーシート、添え。 宇書けるように、 の書き方、その他の言 書類の手続き)、ポー 完成 準備、当日、事後の指 民践編)入退室 民践編) 入退室	-3(実践編)、3-6 [°] 伏など 書類 -トフォリオなどの 導をしてください 章	話しもしてください。
業計画後	3 4 5 6 7 8	作成書類 1 作成書類 2 作成書類 3 企業訪問 就職試験のマナー 1 就職試験のマナー 2 就職試験のマナー 3	3-8・3-8(頁 履歴書、エ 各種書集、また、封筒 (事務局の *履歴書の 5-1,5-2 望 5-2~5-3(頁 5-2~5-3(頁 5-5,5-5(実	経践編)、加えて3-1~3 ントリーシート、添え。 を書けるように、の書き方、その他の。 書類の手続き)、ポー 完成 準備、当日、事後の指 経践編)入退室 経践編)面接試験対象 と践編)面接試験対象 と践編)面接試験対象 と践編)面接試験対象 とは編)面接試験対象	-3(実践編)、3-6 伏など 書類 -トフォリオなどの 導をしてください を1 を2	話しもしてください。
業計画後	3 4 5 6 7 8 9	作成書類 1 作成書類 2 作成書類 3 企業訪問 就職試験のマナー 1 就職試験のマナー 2 就職試験のマナー 3 筆記試験対策 1	3-8・3-8(5) 履歴書、1	経践編)、加えて3-1~3 ントリーシート、添え。 を書けるように、の書き方、その他の。 書類の手続き)、ポー 完成 準備、当日、事後の指 経践編)入退室 経践編)面接試験対象 と践編)面接試験対象 と践編)面接試験対象 と践編)面接試験対象 とは編)面接試験対象	-3(実践編)、3-6 [°] けなど 書類 -トフォリオなどの 導をしてください 養1 養2 ひいて、種類や方: 己PRや志望動機	話しもしてください。 法を知る まをまとめる内容がよい)
業計画後	3 4 5 6 7 8 9 10	作成書類 1 作成書類 2 作成書類 3 企業訪問 就職試験のマナー 1 就職試験のマナー 2 就職試験のマナー 3 筆記試験対策 1 筆記試験対策 2	3-8・3-8(5) 履歴書、1	選銭編)、加えて3-1~3 ントリーシート、添え。 を書けるように、 の書き方、その他の。 書類の手続き)、ポー 完成 整備、当日、事後の指 選銭編) 入退室 選銭編) 面接試験対象 践編) 面接試験対象 践編) 筆記試験につまる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	-3(実践編)、3-6 [°] けなど 書類 -トフォリオなどの 導をしてください 養1 養2 ひいて、種類や方: 己PRや志望動機	話しもしてください。 法を知る まをまとめる内容がよい)
業計画後	3 4 5 6 7 8 9 10 11	作成書類 1 作成書類 2 作成書類 3 企業訪問 就職試験のマナー 1 就職試験のマナー 2 就職試験のマナー 3 筆記試験対策 1 筆記試験対策 2 期末試験(一般常識など)	3-8・3-8(5) 履歴書、1	選銭編)、加えて3-1~3 ントリーシート、添え。 を書けるように、 の書き方、その他の。 書類の手続き)、ポー 完成 整備、当日、事後の指 選銭編) 入退室 選銭編) 面接試験対象 践編) 面接試験対象 践編) 筆記試験につまる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	-3(実践編)、3-6 [°] けなど 書類 -トフォリオなどの 導をしてください 養1 養2 ひいて、種類や方: 己PRや志望動機	話しもしてください。 法を知る まをまとめる内容がよい)
業計画後	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	作成書類 1 作成書類 2 作成書類 3 企業訪問 就職試験のマナー 1 就職試験のマナー 2 就職試験のマナー 3 筆記試験対策 1 筆記試験対策 1 筆記試験対策 2 期末試験(一般常識など) 期末試験振り返り	3-8・3-8(5) 履歴書、1	選銭編)、加えて3-1~3 ントリーシート、添え。 を書けるように、 の書き方、その他の。 書類の手続き)、ポー 完成 整備、当日、事後の指 選銭編) 入退室 選銭編) 面接試験対象 践編) 面接試験対象 践編) 筆記試験につまる。	-3(実践編)、3-6 [°] けなど 書類 -トフォリオなどの 導をしてください 養1 養2 ひいて、種類や方: 己PRや志望動機	話しもしてください。 法を知る まをまとめる内容がよい)
業計画後	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	作成書類 1 作成書類 2 作成書類 3 企業訪問 就職試験のマナー 1 就職試験のマナー 2 就職試験のマナー 3 筆記試験対策 1 筆記試験対策 1 筆記試験対策 2 期末試験(一般常識など) 期末試験振り返り	3-8・3-8(5) 履歴書、1	選銭編)、加えて3-1~3 ントリーシート、添え。 を書けるように、 の書き方、その他の。 書類の手続き)、ポー 完成 整備、当日、事後の指 選銭編) 入退室 選銭編) 面接試験対象 践編) 面接試験対象 践編) 筆記試験につまる。	-3(実践編)、3-6 [°] けなど 書類 -トフォリオなどの 導をしてください 養1 養2 ひいて、種類や方: 己PRや志望動機	話しもしてください。 法を知る まをまとめる内容がよい)

※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

授業計画(シラバス)

科目	名	クロスオーバーゼミ I			指導担	当者名	志村、佐	藤、渡邊	
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	通年 前期・後期	1	対象学	学科学年		全学科1年		
授業	方法	講義:	演習	I:O	実習	習:	実	技:	
時間	引数	56時間		週時間数		2周	持間		
学習到	達目標	・学校の特徴でもある複数分野(・授業内における複数のカリキュができ、自身の可能性と得意分)	ラムメニューから	ら自身の興味関心	視野を広げ見地を高める。 味関心のあるものを選び学習をすることで無理なく学びにつなげる				
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、 満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件 る。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A、B、Cは合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。						上を要件としてい			
使用教材 各担当による									
授業外学習 の方法 各授業実施前後の予習と復習の徹底をする									
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等		
	1	オリエンテーション		授業の目的、使 明。授業選択。	用教材について	の理解、各担当	講師から授業内	容について説	
	2	選択基礎1		各選択授業においてそれぞれの分野の基礎を学ぶ。					
	3	選択基礎2		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	≓ふ 。		
	4	選択基礎3		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	 ≱ぶ。		
	5	選択基礎4		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	≓ぶ 。		
	6	選択基礎5		各選択授業にお	いて学んだことを	を最終レポート提	 是出。		
授	7	オリエンテーション		授業の目的、使 明。授業選択。	用教材について	の理解、各担当	講師から授業内	容について説	
業計	8	選択基礎1			いてそれぞれの	分野の基礎を学	 ≱ぶ。		
画	9	選択基礎2		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	学ぶ。		
前 期	10	選択基礎3		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	学ぶ。		
	11	選択基礎4		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	学ぶ。		
	12	選択基礎5		各選択授業にお	いて学んだこと	を最終レポート扱	是出。		
	13	特別授業1		前期末最後の選	銭択授業を2回で	実施する。			
	14	特別授業2		前期末最後の選	銭択授業を2回で	実施する。			
	15	期末試験フィードバック							
	16	期末試験フィードバック							
园 佐 L /	の密音と								

ン 田席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

授業計画(シラバス)(改定案)

				1				
科目	1名	クロスオーバ	バーゼミI		指導担 ———	当者名 —————	志村、佐	±藤、渡邊 ┰
実務	経験		T				実務経験:	
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	対象学科学年		全学科1年	
授業	方法	講義:	演習	:O	実	習:	実	技:
単位	立数	56時間		週時間数		2時	寺間	
学習到	達目標		ラムメニューから	黄断的に学習し、視野を広げ見地を高める。 ューから自身の興味関心のあるものを選び学習をすることで無理なく学びにつな ていく。				びにつなげること
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果満点で評価していく。 満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験 る。期末試験の結果、必要と認め 成績評価は、A(80点~100点:優) は合格として単位を認定し、D評価	険、プレゼンテーシ Oられる場合には 、B(70点~79点: [ンョンによって行 追試験を実施す 支)、C(60点 [~] 69,	ー われ、受験資格 ⁻ る。 ā:可)、D(0点 [~] 59	として授業実施の	の出席率80%以.	上を要件としてい
使用教材 各担当による								
授業外学習 の方法 各授業実施前後の予習と復習の			徹底をする					
学期	ターム	項目			内	容•準備資料	等	
子州	1	オリエンテーション	1.5	授業の目的、使 明。授業選択。	用教材について	の理解、各担当	講師から授業内	P容について説
			l'					
	2	選択基礎1		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	学ぶ。	
	2	選択基礎1 選択基礎2	:		いてそれぞれの			
			:	各選択授業にお		分野の基礎を学	学ぶ。	
	3	選択基礎2	3	各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	学ぶ。	
	3	選択基礎2 選択基礎3	:	各選択授業にお各選択授業にお各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学 分野の基礎を学	学ぶ。 学ぶ。 学ぶ。	
授	3 4 5	選択基礎2 選択基礎3 選択基礎4		各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 授業の目的、使	いてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれの	分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与	学ぶ。 学ぶ。 学ぶ。	9容について説
業 計	3 4 5 6	選択基礎2 選択基礎3 選択基礎4 選択基礎5		各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 長選の目的、使 明。授業選択。	いてそれぞれの いてそれぞれの いてそれぞれの いて学んだこと	分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与きを最終レポート提の理解、各担当	产ぶ。 产ぶ。	羽容について説
業 計 画	3 4 5 6 7	選択基礎2 選択基礎3 選択基礎4 選択基礎5 オリエンテーション		各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 授業の目的、使 明。授業選択。 各選択授業にお	いてそれぞれの いてそれぞれの いてそれぞれの いて学んだこと 用教材について	分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与りを最終レポート技の理解、各担当り分野の基礎を与り	きぶ。 さぶ。 きぶ。	9容について説
業 計	3 4 5 6 7 8	選択基礎2 選択基礎3 選択基礎4 選択基礎5 オリエンテーション 選択基礎1		各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 授業の目的、使 明。授業選択。 各選択授業にお 各選択授業にお	いてそれぞれの いてそれぞれの いて学んだこと 用教材について	分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与りを最終レポート技の理解、各担当り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り	きぶ。 さぶ。 きぶ。 き出。 講師から授業内 きぶ。	日容について説
業計画後	3 4 5 6 7 8	選択基礎2 選択基礎3 選択基礎4 選択基礎5 オリエンテーション 選択基礎1 選択基礎1		各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 長業の目選択に 長業の目選択。 各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお	いてそれぞれのいてそれぞれのいて学んだことを 用教材についていてそれぞれのいてそれぞれのいて	分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与りを最終レポート技の理解、各担当り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り	学ぶ。 学ぶ。 学ぶ。	9容について説
業計画後	3 4 5 6 7 8 9	選択基礎2 選択基礎3 選択基礎4 選択基礎5 オリエンテーション 選択基礎1 選択基礎2 選択基礎2		各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 長期、授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお 各選択授業にお	いてそれぞれの いてそれぞれの いて学んだこと: 用教材について いてそれぞれの いてそれぞれの	分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与りを最終レポート技の理解、各担当の分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り	さぶ。 さぶ。 きぶ。 きが。 きが。 講師から授業内 さぶ。 さぶ。	羽容について説
業計画後	3 4 5 6 7 8 9 10	選択基礎2 選択基礎3 選択基礎4 選択基礎5 オリエンテーション 選択基礎1 選択基礎2 選択基礎3 選択基礎3		各選択授業にお各選択授業にお各選択授業にお各選択授業にお各選択授業におけての業選択の事業授業におけての業別を発選択授業におると選択授業におる選択授業におると選択授業におると選択授業においる。	いてそれぞれのいて学んだこと: 田教材についていてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいて	分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与りを最終レポート技の理解、各担当り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与りかりまませた。	さぶ。 さぶ。 きぶ。 きが。 きが。 講師から授業内 さぶ。 さぶ。	9客について説
業計画後	3 4 5 6 7 8 9 10	選択基礎2 選択基礎3 選択基礎4 選択基礎5 オリエンテーション 選択基礎1 選択基礎2 選択基礎3 選択基礎4 選択基礎4		各選択授業にお各選択授業にお各選択授業にお各選択授業にお各選状授 業にお長期の業 授 乗 におき と 選択 授 目選 業 におき と 選択 授 業 に に 使 。 お 各選 択 授 業 に に を 各選 択 授 業 に に お 各選 択 授 業 に に お る 選 択 授 素 に に お の 選 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	いてそれぞれのいて学んだことにいてそれぞれのいて子れぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのにいてそれぞれのにいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいて	分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与りた最終レポート提集施する。	さぶ。 さぶ。 きぶ。 きが。 きが。 講師から授業内 さぶ。 さぶ。	日容について説
業計画後	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	選択基礎2 選択基礎3 選択基礎4 選択基礎5 オリエンテーション 選択基礎1 選択基礎2 選択基礎3 選択基礎4 選択基礎5 特別授業1		各選択授業にお各選択授業にお各選択授業にお各選択授業にお各選状授 業にお長期の業 授 乗 におき と 選択 授 目選 業 におき と 選択 授 業 に に 使 。 お 各選 択 授 業 に に を 各選 択 授 業 に に お 各選 択 授 業 に に お る 選 択 授 素 に に お の 選 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	いてそれぞれのいてそれぞれのいて学んだこと: 田教材についていてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいて学んだこと:	分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与りた最終レポート提集施する。	さぶ。 さぶ。 きぶ。 きが。 きが。 講師から授業内 さぶ。 さぶ。	日容について説
業計画後	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	選択基礎2 選択基礎3 選択基礎5 オリエンテーション 選択基礎1 選択基礎2 選択基礎3 選択基礎4 選択基礎5 特別授業1		各選択授業にお各選択授業にお各選択授業にお各選択授業にお各選状授 業にお長期の業 授 乗 におき と 選択 授 目選 業 におき と 選択 授 業 に に 使 。 お 各選 択 授 業 に に を 各選 択 授 業 に に お 各選 択 授 業 に に お る 選 択 授 素 に に お の 選 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	いてそれぞれのいてそれぞれのいて学んだこと: 田教材についていてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいてそれぞれのいて学んだこと:	分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与り分野の基礎を与りた最終レポート提集施する。	さぶ。 さぶ。 きぶ。 きが。 きが。 講師から授業内 さぶ。 さぶ。	羽容について説

履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

			II I		<u> </u>			
		授	業計	画(シラ/	バス)			
科目	1名	飼養管理士概論	I		指導担	当者名	佐藤	智子
実務	経験	トリミングサロン	ンで3年以	上の実務経験か	ずある。		実務経験: 有	
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	科学年		ペット総合科 1年	
授業	方法	講義:○	演	필:	実 [:]	習:	実技:	
時間	『数	56時間		週時間数		2	2時間	
学習到	達目標	<科目主旨> ・動物についての理論的かつ科学的に ・社会のニーズに対応できる実践的応用 ・愛玩動物を扱う者として、必要な法律の	力を身に	こつける。		うにする。		
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレる。期末試験の結果、必要と認められる成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70は合格として単位を認定し、D評価の場	ゼンテー: 場合には 点 [~] 79点:	ションによって行: t追試験を実施す 良)、C(60点 [~] 69点	ー われ、受験資格 ⁻ る。 ā:可)、D(0点 [~] 5!	として授業実施	拖の出席率80%以上	-を要件としてい
使用教材 愛玩飼養管理士2級 教本上下								
授業がのフ	1学習 5法	予習復習 課題報告問題を解く						
学期	ターム	項目			内]容•準備資料	斗等	
	1	第 I 編愛玩動物飼養管理士の社会活動	ib	第1章公益社団法人日本愛玩協会の目的・事業				
	2			第2章愛玩飼養領	管理士			
	3	第Ⅱ編 動物愛護論Ⅰ		第1章人は動物を	をどのように見て	きたのか		
	4			第2章近代的動物	物愛護運動の始	まり		
	5			第3章現代の動物	物愛護運動との	思想		
	6	第Ⅲ編 人と動物の関係学		第1章互いに影響	響しあう人と動物]		
授	7			第2章人を支える	動物たち			
業計	8			第3章動物から	子供が学ぶこと			
画	9	第Ⅳ編 動物関係法令概説		第1章動物と法律	津との関係			
前 期	10			第2章動物の愛	護及び管理に関	する法律		
	11			第3章動物の飼	養及び保管に関	する基準法		
	12			第4章家庭飼育	動物に関わる関	係法令		
	13			第5章野生動物(こかかわる関係	 法令		
	14	期末テスト		期末テスト				
	15							

授業計画(シラバス) 科目名 飼養管理士概論 I 指導担当者名 佐藤 智子 実務経験 ドッグトリミングで3年以上の実務経験がある。 実務経験: 有 開講時期 対象学科学年 ペット総合科 1年 通年 前期・後期 授業方法 講義:〇 演習: 実習: 実技: 時間数 56時間 週時間数 2時間 <科目主旨> ・動物についての理論的かつ科学的に理解を深め、専門的知識を高める。・社会のニーズに対応できる実践的応用力を身につける。 学習到達目標 ・愛玩動物を扱う者として、必要な法律の知識を習得し、広く普及啓発を行えるようにする。 学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点 満点で評価していく。 開末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A, B, Cの評価 評価方法 評価基準 は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 使用教材 愛玩飼養管理士2級 教本上下 授業外学習 予習復習 課題報告問題を解く の方法 学期 ターム 項目 内容•準備資料等

	1	第Ⅴ編動物のからだの仕組みと働き	第1章体の基本の仕組み
	2		第2章栄養を取り入れる
	3		第3章酸素を取り入れる
	4		第4章老廃物の排出、異物の撃退と解毒
	5		第5章情報を取り入れる
	6		第6章体内の情報伝達
授業計画 -	7		第7章子どもを産み育てる
	8	第VI編動物の飼養管理	第1章動物の飼養管理(総論)
	9		第2章犬の飼養管理 第3章猫の飼養管理
後 期	10		第4章その他の哺乳類の飼養管理 第5章鳥類の飼養管理
	11	第Ⅷ編動物のしつけ	第1章学習理論 第2章犬と猫の社会化
	12		第3章犬のしつけの基本
	13		第4章室内飼育猫の死受け基本
	14	期末テスト	期末テスト
	15		
	16		
	- FT TT		L

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

	授業計画(シラバス)							
科目名	PC演習 I			指導担当者名		佐藤 美希子		
実務経験						実務経験:		
開講時期	通年 前期·後期		対象学	科学年	^	ペット総合科 1	 年	
授業方法	講義:	演習	i:O	実 [:]	習:	実	技:	
時間数	通年56時間		週時間数		2時	寺間		
学習到達目標	PCの基本的な操作を学び、word?	を使ってはがき	・や広告などを作	成することができ	≛ిం			
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成果 点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験 いる。期末試験の結果、必要と認 成績評価は、A(80点*100点:優)、 価は合格として単位を認定し、Di	i、プレゼンテー められる場合に B(70点~79点:	·ションによって行 こは追試験を実 良)、C(60点 [~] 69	fわれ、受験資格 をする。 点:可)、D(0点~5	子として授業実施	の出席率80%以.	上を要件として	
使用教材	word2019クイックマスター 基本総	扁						
授業外学習	自宅での教材復習							

の方法

学期	ターム	項目	内容-準備資料等
	1	オリエンテーション	授業の流れ クイックマスターをPCに取り込む
	2	Word基礎①	wordの基本
	3	Word基礎②	文字の入力と編集の基本操作
	4	Word基礎③	文書の編集
	5	Word基礎④	文書の印刷
	6	実践練習1	犬の解説文を作成する
授 業 計	7	Word基礎⑤	文書の作成
計画	8	Word基礎⑥	表を使った文書の作成
	9	Word基礎⑦	図形や画像を使った文書の作成
前 期	10	実践練習2一1	画像を使って広告を作る
	11	実践練習2一2	画像を使って広告を作る
	12	演習問題1	テキストを使って演習
	13	演習問題2	テキストを使って演習
	14	期末試験	資料作成
	15		
	16 の知 立 上		

履修上の留意点

ン日息点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

		授業計	画(シラ	バス)			
科目名	PC演	 習 I		指導担	 当者名	佐藤	 美希子
実務経験				実務経験:			
開講時期	通年 前期·後期		対象学	科学年	^	ペット総合科 1:	年
授業方法	講義:	演習	T:O	実	멸:	実	 技:
時間数	通年56時間		週時間数		2時	寺間	
学習到達目標	PCの基本的な操作を学び、word	を使ってはがき	や広告などを作	成することができ	÷3.		
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成界点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試駅いる。期末試験の結果、必要と認 成績評価は、A(80点~100点:優) 価は合格として単位を認定し、D	検、プレゼンテー 図められる場合は 、B(70点~79点:	·ションによって行 こは追試験を実が 良)、C(60点 [~] 69	īわれ、受験資格 布する。 点:可)、D(0点 [~] 5	として授業実施	の出席率80%以.	上を要件として
使用教材	Excel2019クイックマスター 基本	編					
授業外学習	白空での数材復翌		_	_			

の方法 自宅での教材復習

学期	ターム	項目	内容-準備資料等
	1	前期復習、Excel導入	前期の復習・確認と今後の流れ確認 クイックマスターをPCに取り込む
	2	Excel基礎①	chapter1
	3	Excel基礎②	chapter2
	4	Excel基礎③	chapter3
	5	Excel基礎④	chapter4
	6	実践練習①	顧客リストを作成
授 業 計	7	Excel基礎⑤	chapter5
計画	8	Excel基礎⑥	chapter6
	9	Excel基礎⑦	chapter7
後 期	10	実践練習②-1	売上管理をする
	11	実践練習②-2	売上管理をする
	12	演習問題1	テキストを使って演習
	13	演習問題2	テキストを使って演習
	14	期末試験	資料作成
	15		
	16	_	

履修上の留意点

ン日息点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

		授業記	十画(シラ	バス)			
科目	1名	犬学 I		指導担	当者名	坂元	幸江
実務	経験	動物病院にて動物看護師と	して20年超の実績	条経験がある		実務経験:	有
開講	時期	通年 前期·後期	対象学	学科学年		ペット総合科 1年	
授業	方法	講義∶○	習:	実	習:	実	技:
時間	引数	56時間	週時間数		2	時間	
学習到	達目標	<科目主旨> ・動物の取り扱いや日常的な管理を行う為の基 〈到達目標〉 ・動物看護にて知識を得て、動物達へストレスカ			ぎること。		
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーる。期末試験の結果、必要と認められる場合に成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点は合格として単位を認定し、D評価の場合は不存	-ションによって行 は追試験を実施す : 良)、C(60点~69)	われ、受験資格 「る。 点:可)、D(0点~5!	として授業実施	拖の出席率80%以」	こを要件としてい
使用教材 めざせ早期発見!わかる犬の病気							
授業を	1学習 5法	病気について予習復習					
学期	ターム	項目		内	容・準備資料	科等	
学期							
	1	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気	1 全身チェック				
	1 2	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気 第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気		うつる恐れのある	病気		
				うつる恐れのある	病気		
	2	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気	2 人や動物に	つる恐れのある	病気		
	2	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気第2章早期発見するための部位別病気の知識	2 人や動物に	うつる恐れのある	病気		
	2 3 4	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識	 2 人や動物に 1 皮膚の病気 2 耳の病気 		病気		
授业	2 3 4 5	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識	 2 人や動物に 1 皮膚の病気 2 耳の病気 3 目の病気 	ī	病気		
授業計	2 3 4 5	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識	2 人や動物に 1 皮膚の病気 2 耳の病気 3 目の病気 4 鼻と口の病気	「 間りの病気	病気		
授業計画	2 3 4 5 6	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識	2 人や動物に 1 皮膚の病気 2 耳の病気 3 目の病気 4 鼻と口の病気 5 おしり・お腹原 6 足先・膝・腰る	で 割りの病気 まわりの病気	病気		
授業計	2 3 4 5 6 7 8	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識 第2章早期発見するための部位別病気の知識	2 人や動物に 1 皮膚の病気 2 耳の病気 3 目の病気 4 鼻と口の病気 5 おしり・お腹原 6 足先・膝・腰っ 1 シャンプーの	る。 関りの病気 まわりの病気 基礎知識		·掃·消毒方法	
授業計画前	2 3 4 5 6 7 8	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識	2 人や動物に 1 皮膚の病気 2 耳の病気 3 目の病気 4 鼻と口の病気 5 おしり・お腹腫 6 足先・膝・腰っ 1 シャンプーの 2 トリミングサロ	に 引りの病気 まわりの病気 基礎知識 コン・ペットショップ		掃・消毒方法	
授業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識	2 人や動物に 1 皮膚の病気 2 耳の病気 3 目の病気 4 鼻と口の病気 5 おしり・お腹腫 6 足先・膝・腰っ 1 シャンプーの 2 トリミングサロ	に 引りの病気 まわりの病気 基礎知識 コン・ペットショップ		·掃·消毒方法	
授業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識	2 人や動物にこれ 1 皮膚の病気 2 耳の病気 3 目の病気 4 鼻と口の病気 5 おしり・お腹腫 6 足先・膝・腰っ 1 シャンプーの 2 トリミングサロ 3 ワクチンの基	に 引りの病気 まわりの病気 基礎知識 コン・ペットショップ		·掃·消毒方法	
授業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識	2 人や動物に 1 皮膚の病気 2 耳の病気 3 目の病気 4 鼻と口の病気 5 おしり・お腹肌 6 足先・膝・腰っ 1 シャンプーの 2 トリミングサロ 3 ワクチンの基 復習	に 引りの病気 まわりの病気 基礎知識 コン・ペットショップ		掃·消毒方法	
授業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる病気第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第2章早期発見するための部位別病気の知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知識前期期末試験対策	2 人や動物に 1 皮膚の病気 2 耳の病気 3 目の病気 4 鼻と口の病気 5 おしり・お腹原 6 足先・膝・腰っ 1 シャンプーの 2 トリミングサロ 3 ワクチンの基 復習 復習	に 引りの病気 まわりの病気 基礎知識 コン・ペットショップ		·掃·消毒方法	

		授	受業計	画(シラ/	バス)			
科目	1名	犬学 I			 指導担	当者名	坂元	 幸江
実務	経験	動物病院にて動物看	看護師として	 て20年超の実務	 R経験がある		実務経験:	有
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	 科学年	^	ペット総合科 1年	 F
授業	方法	講義:〇	演習	' :	実 [:]	習:	実技	 支:
時間	『数	56時間		週時間数		2₽	寺間	
学習到	達目標	<科目主旨> ・動物の取り扱いや日常的な管理を行う <到達目標> ・動物看護にて知識を得て、動物達へス				きること。		
評価評価	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価 満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレ る。期末試験の結果、必要と認められる 成績評価は、A(80点*100点:優)、B(70) は合格として単位を認定し、D評価の場	ゼンテーシ 場合には〕 点 [~] 79点:良	ョンによって行 追試験を実施す も)、C(60点 [~] 69点	われ、受験資格 ⁻ る。 5:可)、D(0点 [~] 5	として授業実施の	の出席率80%以上	を要件としてい
使用	教材	めざせ早期発見!わかる犬の病気						
授業を		病気について予習復習						
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等	
	1	第4章飼い主さんへの病気説明	7	アレルギー、外国	耳炎、角膜炎			
	2		Я	I門囊炎、股関	節形成不全、子	宮蓄膿症、		
	3		雄	歯周病、糖尿病	•			
	4		É	白内障、緑内障	`			
	5		絎	吉膜炎				
	6		₹	マダニ、ノミにつ	いて			

1 爪切りで出血させてしまった

2 目がしょぼしょぼする

3 フケが多くなった

5 血尿がでてしまった

6 片足立ちになっている、足腰が立たない

7 足先をなめている 8いぼや皮膚を切ってしまった

4 嘔吐、下痢

後期期末テスト

16

授業計

画

後

7

9

10

11

12

14

15

第5章トリミングトラブル

後期期末テスト

		授業計	画(シラ	バス)			
科目	1名	ペット美容演習 I		指導担当	省 名	平田	芳子
実務	経験	ドッグトリミングの分野で1	0年超の実務実績	責がある。		実務経験:	有
開講	時期	通年 前期·後期	対象学	科学年	,	ペット総合科 1:	年
授業	方法	講義: 演習	I:O	実習	':	実	技:
時間	『数	56時間	週時間数		2	時間	
学習到	達目標	<科目主旨> スタンダードの理解と、各犬体各種のカッティンク実社会で使用する最低限度の用語等を習得する <到達目標> カットスタイル習得。一人で2~3時間以内で仕上カン使用の習得。	。モデル犬受付	業務の流れ。		モデル犬受付業	務の習得。バリ
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、 満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテー る。期末試験の結果、必要と認められる場合には 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点: は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合	ションによって行 t追試験を実施す 良)、C(60点~69 g	ー われ、受験資格と ⁻る。 点:可)、D(0点 [~] 59;	して授業実施	の出席率80%以上	こを要件としてい
使用	教材	日本ペットビジネススクール協会 ペット美容学 インターズー プロフェッショナルワークブック					
授業を	1学習 5法	ペット美容学教科書の予習復習					
学期	ターム	項目		内乳	容∙準備資料	·等	
	1	オリエンテーション	自己紹介				
	2	犬体用語・毛色用語・被毛用語・ペット美容用語	犬体各部の名所	Ť			
	3	GM道具の手入れについて	道具の取り扱い				
	4	ペット美容用語	用語解説				
	5	トリミング用具・ハサミ	ハサミの手入れ	について			
	6	ハサミの基本技法	ハサミの持ち方				
授	7	ブラシ、コーム、クリッパー	取り扱い				
計	8	爪切り、ドライヤー、テーブル	使い方				
画	9	リボンの作り方	実践で使える手	作りリボンの解説			
前 期	10	爪の手入れ	犬の爪切り				
	11	パッド、目、歯の手入れ	パッドの手入れ、	、目の手入れ、歯の	の手入れ		
	12	耳の手入れ 肛門の手入れ	耳の手入れ 耳	の中の毛を抜く〕	耳の汚れをふ	き取る 肛門嚢の	絞り方
	13	シャンピング ドライング	シャンピングの必要	厚性 シャンピングの目	目的 シャンピン	グの前処理 シャンピ	ングの弊害と対策
Ì	14	まとめ	期末試験				

授業計画(シラバス)

1		,	スペロ	П () ,	• 7 • 7			
科目	目名	ペット美容演習	l I		指導担	当者名	平田	芳子
実務	経験	ドッグトリミング(の分野で10:	年超の実務実績	責がある。		実務経験:	有
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	科学年	,	ペット総合科 1:	年
授業	方法	講義:	演習	:O	実習	ቜ:	実	技:
時間	間数	56時間		週時間数		28	寺間	
学習到	達目標	<科目主旨> スタンダードの理解と、各犬体各種の対実社会で使用する最低限度の用語等: 〈到達目標〉 カットスタイル習得。一人で2~3時間以力ン使用の習得。	を習得する。	モデル犬受付	業務の流れ。		モデル犬受付業	務の習得。バリ
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の評 満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレ る。期末試験の結果、必要と認められ、 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70 は合格として単位を認定し、D評価の特	ッゼンテーシ る場合には: 0点~79点: 6	/ョンによって行 追試験を実施す 夏)、C(60点 [~] 69,	ー われ、受験資格と つる。 気: 可)、D(0点~59	として授業実施	の出席率80%以上	こを要件としてい
使用	教材	日本ペットビジネススクール協会 ペット美容インターズー プロフェッショナルワーク						
	小学習 方法	ペット美容学教科書の予習復習						
学期	ターム	項目			内	容∙準備資料	等	
	1	リンシング	I,	ノンシングの目的	り リンス剤の種	類		
	2	作業困難な犬柄の対処	5	安全な保定のし	かた			
	3	マルチーズのグルーミング	3	シザー仕上げ ・	クリッッパー仕上	げの方法		
	4	ヨークシャテリアのグルーミング	/	ペットトリムとショ	ョークリップの違い	`		
	5	シーズーのグルーミング	/	ペットトリムとショ	ョークリップの違い	`		
	6	ポメラニアンのグルーミング	3	ショークリップ !	_{能力ット} について			
授 業	7	アメリカンコッカースパニエルのペットト	·IJム !	クリッパーの使い	ゝ 方			
計	8	アメリカンコッカースパニエルのショート	-リム !	クリッパーとスキ	・バサミの取り扱い	۸,		
画	9	プードルのペットクリップ	=	ラムクリップ ス	ィートハート ダッ	チ ハリウッド	マイアミ	
後 期	10	プードルのショークリップ	,	パピークリップ	コンチネンタル・	イングリッシュサ	ナドルクリップ	
	11	プードル各部の仕上げ	7	ポンポンの作り	方、スウェル、ブレ	ノスレッド、ロー	ゼット、レッグバリ	エーション
	12	プードルの理想体型	ŀ	・ワーフタイプと	ハイオンタイプの	違い		
	13	トイプードル(ラムクリップ)	1	作業工程と注意	点			
	14	まとめ	ļ	期末試験				
	15							
	10							

		授業計	†画(シラ	バス)			
科目名	POP·17	スト実習		指導担	当者名	佐藤	美希子
実務経験						実務経験:	
開講時期	後期		対象学	科学年	^	ペット総合科 1	年
授業方法	講義:	演 [:]	習:	実習	i:O	実	技:
時間数	28時間		週時間数		2時	持間	
学習到達目標	・ショップ運営時に使用する様々 ・デザイン文字、各種ペットのイラ・アピールできる色とデザインを「	ラストなど、可愛					
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成 点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試 いる。期末試験の結果、必要と記 成績評価は、A(80点~100点:優) 価は合格として単位を認定し、D	験、プレゼンテー 忍められる場合!)、B(70点~79点:	-ションによって行 こは追試験を実 : 良)、C(60点 [~] 69	テわれ、受験資格 施する。 点∶可)、D(0点 [~] 5	として授業実施	の出席率80%以	上を要件として
使用教材	テキスト等特になし。講師が要し	たプリントを使用	用。				
授業外学習の方法	授業内容の予習、復習						

の方法 ¹¹

244, 440	— ,	- F -	rh sto _ 被 战 次 则 位
学期	ターム	項目	内容·準備資料等
	1	オリエンテーション	授業趣旨説明、簡単な実習
	2	デザイン文字①	書体の紹介(明朝体、ゴシック体各丸と角)とトレース
	3	デザイン文字②	角ゴシック体と丸ゴシック体の描画①
	4	デザイン文字③	角ゴシック体と丸ゴシック体の描画②
	5	デザイン文字④	明朝体の描画①
	6	デザイン文字⑤	明朝体の描画②
授 業 計	7	漢字のデザイン文字①	漢字での各種書体での描画①
計画	8	漢字のデザイン文字②	漢字での各種書体での描画②
	9	動物の描画①	犬の描き方①
後 期	10	動物の描画②	犬の描き方②
	11	動物の描画③	猫の描き方①
	12	動物の描画④	猫の描き方②
	13	後期最終課題制作	モノクロでの犬と猫を表現する
	14	振り返り	授業内容の振り返り、レポート作成
	15		
房校 L	16		

履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

		授業計	†画(シラ	バス)			
科目名	サービス	接遇概論		指導担	当者名	佐藤	美希子
実務経験						実務経験:	
開講時期	前期		対象学	科学年	^	ット総合科 1:	 年
授業方法	講義:○	演	習:	実	習:	実	技:
時間数	28時間		週時間数		2時	計 間	
学習到達目標	基本的な接遇の知識の習得。接	5遇時の動作習?	설 .				
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成 点満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試 いる。期末試験の結果、必要と記 成績評価は、A(80点~100点:優 価は合格として単位を認定し、D	験、プレゼンテー 忍められる場合!)、B(70点~79点:	-ションによって行 こは追試験を実 : 良)、C(60点~69	テわれ、受験資格 施する。 点:可)、D(0点~5	子として授業実施	の出席率80%以	上を要件として
使用教材	サービス接遇検定2級・3級						
授業外学習 の方法	授業内容の予習、復習						

•//	J /A		
学期	ターム	項目	内容·準備資料等
	1	オリエンテーション	授業趣旨説明、簡単な実習
	2	確認テスト	テキストP194-208
	3	サービススタッフの資質	テキストP16-42
	4	専門知識	テキストP44-82
	5	一般知識	テキストP83-110
	6	一般知識②	テキストP112-116
授 業 計	7	対人技能	テキストP118-144
計画	8	対人技能②	テキストP145-156
	9	実務技能	テキストP158-168
前期	10	実務技能②	テキストP170-192
	11	実技	接客対応を実践
	12	実技②	金銭授受の対応を実践
	13	前期テスト	前期の内容を振り返る
	14	振り返り	授業内容の振り返り、レポート作成
	15		
	16		
履修 上	の留意は	<u> </u>	

履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

		授	業計画	画(シラ	バス)			
科目	1名	トリミング実習 I			指導担	当者名	平田	芳子
実務	経験	ドッグトリミングの	分野で10年	超の実務実績	責がある 。		実務経験:	有
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	科学年		ペット総合科 1年	Ŧ
授業	方法	講義:	演習:	:	実習	¹:O	実持	支:
時間	引数	168時間		週時間数		6	時間	
学習到	達目標	<科目主旨> モデル犬のトリミングを通し、トリミング技ション能力の向上を図る。 〈到達目標〉 一通りのトリミング作業を一人で出来るよ		≿動物と接する	際の心構え等を	習得を図る。ク	ブループ行動を通し	ンコミュニケー
評価評価		学期末試験の実施及び実習成果の評価 満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレー る。期末試験の結果、必要と認められる。 成績表かは。A(80点~100点:優)、B(70点 格として単位を認定し、D評価の場合は	ゼンテーショ 場合には追 点~79点: 良)	ョンによって行 a試験を実施す)、C(60点 [~] 69 g	われ、受験資格。 ·る。 ā:可)、D(0点~59	として授業実施	5の出席率80%以上	を要件としてし
使用	教材	トリミング道具一式						
授業を		犬種にあったトリミング方法を予習復習						
		福口			内	容•準備資料	· 等	
学期	ターム	項目					• •	
学期	ターム 1	復習 モデル犬実習	作	業の流れ、道	具の使い方、コミ	ミュニケーション		
学期				業の流れ、道切り 下処理の		ミュニケーション		
学期	1	復習 モデル犬実習	π+		在認	ミュニケーション		
学期	1 2	復習 モデル犬実習	丌:	切り 下処理	在認	ミュニケーション		
学期	1 2 3	復習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	爪・ 耳: プ-	切り 下処理の	を記パー・ブロー・レ犬カット	ミュニケーション		
学期	1 2 3 4	復習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	爪・ 耳: プ- チ ^r	切り 下処理を掃除 シャンプ	を住記 プロー レ犬カット	ミュニケーション		
授	1 2 3 4 5	復習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	爪・ 耳: プ・ チ・ シ・	切り 下処理(掃除 シャン) ードルのモデ ワワのモデル ーズーのモデ	を住記 プロー レ犬カット			
授業計	1 2 3 4 5 6	復習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	ボ・ ボ・ プ・ チ・ シ・ ヨー	切り 下処理(掃除 シャン) ードルのモデ ワワのモデル ーズーのモデ	権認 パー ブロー レ犬カット 犬カット ル犬カット のモデル犬カット			
授業計画	1 2 3 4 5 6	復習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	ボ・ ボ・ プ・ チ' シ・ ヨー ポ.	切り 下処理(掃除 シャン) ードルのモデル ワワのモデル ーズーのモデ ークシャテリア メラニアンのモ	権認 パー ブロー レ犬カット 犬カット ル犬カット のモデル犬カット			
授業計	1 2 3 4 5 6 7 8	復習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	ボ・ ボ・ ブ・ チ・ シ・ ヨ・ ポ・	切り 下処理(掃除 シャン) ードルのモデル ワワのモデル ーズーのモデ ークシャテリア メラニアンのモ ションフリーゼ	在認 パー ブロー レ犬カット 犬カット ル犬カット のモデル犬カット デル犬カット			
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8	復習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	ボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボー	切り 下処理(掃除 シャンフ ードルのモデル ワワのモデル ーズーのモデ ークシャテリア メラニアンのモ ションフリーゼ ックスフントの	作認 パー ブロー レ犬カット 犬カット ル犬カット のモデル犬カット モデル犬カット			
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8 9	復習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習	ボ・ボ・ボ・ブ・チャン・コーポルビジダップ・	切り 下処理(掃除 シャン) ードルのモデル ワワのモデル ーズーのモデ ークシャテリア メラニアンのモ ションフリーゼ ックスフントの ードル、ビーク	作認 パー ブロー レ犬カット 犬カット ル犬カット のモデル犬カット モデル犬カット モデル犬カット			
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8 9	復習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	ボーボーボーブ・ デ'シーヨーポルビジダップ・シュ	切り 下処理(掃除 シャン) ードルのモデル ワワのモデル ーズーのモデ ークシャテリア メラニアンのモ ションフリーゼ ックスフントの ードル、ビーク	在認 パー ブロー レ犬カット 犬カット ル犬カット のモデル犬カット モデル犬カット モデル犬カット モデル犬カット			
授業計画前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	復習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習	ボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボー	切り 下処理(掃除 シャン) ードルのモデル ワワのモデル ーズーのモデ ークシャテリア メラニアンのモ ションフリーゼ ックスフントの ードル、ビーク ュナウザーの・ IX犬のモデル	在認 パー ブロー レ犬カット 犬カット ル犬カット のモデル犬カット モデル犬カット モデル犬カット モデル犬カット	デル犬カット		

授業計画(シラバス)

科目	目名	トリミング実習 I 指導担当者名						芳子
実務	経験	ドッグトリ	ミングの分野で10	0年超の実務実終	責がある。		実務経験:	無
開講	時期	通年 前期・後期	l	対象学	科学年	`	ペット総合科 1	年
授業	方法	講義:	演 [:]	習:	実習	T:O	実	技:
時間	間数	168時間		週時間数		6₽	持間	
学習到	達目標	<科目主旨> モデル犬のトリミングを通し、トリ ション能力の向上を図る。	ミング技術の向.	上と動物と接する	5際の心構え等を	- 習得を図る。 グ	ループ行動を通	しコミュニケー
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成身満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験る。期末試験の結果、必要と認め成績表かは。A(80点~100点:優格として単位を認定し、D評価の	検、プレゼンテー かられる場合には 、B(70点~79点:	ションによって行 t追試験を実施す 良)、C(60点~69;	われ、受験資格 「る。 点: 可)、D(0点~5:	として授業実施の	の出席率80%以」	上を要件としてい
使用	教材	トリミング道具一式						
授業が	1学習 方法	犬種にあったトリミング方法を予	習復習					
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等	
	1	モデル犬実習		プードル、シース	ベーのモデル犬が	コット		
	2	モデル犬実習		プードル、シース	ヾー、ポメラニア ン	ノのモデル犬カッ	ト	
	3	モデル犬実習		プードル、ヨーク	シャテリア、ダッ	クスフントのモデ	ル犬カット	
	4	モデル犬実習		プードル、チワワ	フ、マルプーのモ	デル犬カット		
	5	モデル犬実習		プードル、柴犬、	ゴールデンレト	Jバーのモデル:	犬カット	
	6	モデル犬実習		プードル、パピ≡	lン、ヨークシャテ	リアのモデル犬	カット	
授	7	モデル犬実習		プードル、ポメラ	ニアン、チワワの	フモデル犬カット		
業計	8	モデル犬実習		プードル、シュナ	-ウザー、ペキニ	 一ズのモデル犬	カット	
画	9	モデル犬実習		プードル、ビショ	ンフリーゼ、ヨー	クシャテリアのモ		
後 期	10	モデル犬実習		プードル、ビーク	ブル、MIX犬のモ	デル犬カット		
	11	モデル犬実習		プードル、イング	「リッシュセッター	、シェットランドシ	ノープドッグのモ [・]	デル犬カット
	12	モデル犬実習		プードル、柴犬、	ジャックラッセル	のモデル犬カッ	۲	
	13	モデル犬実習		プードル、ラフコ	リー、ポメプーの	モデル犬カット		
	14	モデル犬実習 反省		プードル、ラフコ	リー、ポメプーの	モデル犬カット		
	15							
	16							
		1						

履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

授業計画(シラバス) 科目名 トレーニング演習 I 指導担当者名 渡辺 亮 実務経験 訓練士としてしつけ教室、災害救助犬・警察犬の育成などの業務に10年以上従事 実務経験: 有 開講時期 通年 前期・後期 対象学科学年 ペット総合科 1年 授業方法 演習:○ 実習: 講義: 実技: 時間数 168時間 週時間数 6時間 <科目主旨> 動物についての基本的なしつけや訓練の知識を総合的に養う <到達目標> 家庭犬トレーニングインストラクターの資格を受ける事が出来る 学習到達目標 飼い主さんへの総合的なアドバイスができる 学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点 満点で評価していく。 評価方法 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としてい る。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 評価基準 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A, B, Cの評価 は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 使用教材 日本ペット技能専門学校協会 トレーニング教科書 授業外学習 教科書での予習復習 の方法 学期 ターム 項目 内容•準備資料等 オリエンテーション 白己紹介 1 トレーニングの必要性 しつけ 訓練について 2 犬の精神的本質の構成 3 犬の習性を理解する 4 トレーニングの方針 犬種による性格の格差を知る 日常生活の中でトレーニング 仲間との接し方を学ぶ、人との接し方を学ぶ 子犬の社会化期 5 6 犬の問題行動 支配性の徴候 支配性の阻止 アルファシンドローム 分離不安 無駄吠え 授 リーダーとして認めさせる 飼い主と犬、トレーナーと犬との主従関係 7

アイコンタクトを教える

モチベーターで誘導する

オペラント式訓練技法

他の犬に慣れさせる

「すわれ」「まて」「よし」

家庭で飼育される犬の空間認識

サークル内をトイレとする方法

履修上の留意点

計

画

前

期

8

9

10

11

12

14

15 16 アイコンタクト

モチベーター

飼育犬の空間認識

ほめる事と叱る事

社会性を養う

トイレのしつけ

食事のしつけ

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

授業計画(シラバス) 科目名 トレーニング演習 I 指導担当者名 渡辺亮 実務経験 訓練士としてしつけ教室、災害救助犬・警察犬の育成などの業務に10年以上従事 実務経験: 有 開講時期 対象学科学年 通年 前期・後期 ペット総合科 1年 授業方法 演習: 実技: 講義: 実習: 〇 時間数 168時間 週時間数 6時間 <科目主旨> 動物についての基本的なしつけや訓練の知識を総合的に養う 学習到達目標 <到達目標> へ到走口(ボン 家庭犬トレーニングインストラクターの資格を受ける事が出来る 飼い主さんへの総合的なアドバイスができる 学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点 満点で評価していく。 評価方法 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としてい 評価基準 は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 使用教材 日本ペット技能専門学校協会 トレーニング教科書 授業外学習 教科書での予習復習 の方法 学期 ターム 項目 内容•準備資料等 音符、視符 「おいで」「こい」 1 トレーニングの開始と終了 トレーニング終了の始まりと終わりを犬に伝える 2 集中力を再生する 犬の集中力を再生する 3 4 「スワレ」 座ること 子犬を遊ばせながら教える 食事を利用して教える 強制を伴うスワレ 伏せからスワレ 「フセ」の姿勢から「スワレ」 5 6 行進中のスワレ 脚測行進中のスワレ

基本動作について

基本動作について

スワレからのタッチ

スワレからのタッテ

「フセ」の視符

タッチの視符

タッテの視符

まとめ

履修上の留意点

授

業計

画

後

期

7

8

9

10

11

12

14

15 16

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

後方から脚側停座

左側から脚側停座

「フセ」

脚測行進

脚測行進

脚測行進

脚測行進

講評

		抒	美業 計	†画(シラ	バス)			
科目	3名	ペット総合演習 I			指導拍	旦当者名	佐藤	美希子
実務	経験			<u> </u>			実務経験:	
開講	時期	通年 前期・後期		対象学科	4学年		ペット総合科	1年
授業	方法	講義:	演習	:O	美	習:	3	€技:
時間	間数	56時間		週時間数		2	2時間	
学習到	達目標	就職に向けて実践的な知識や技術を身に着けるこ ①受付係:トリミング実習の際、受付をし、お客様が ②会計係、サロン実習の際、多付をし、お客様が ③消耗品管理、掃除係:ベット総合科で使用してい ④SNS/掲示板係:実習の様子やカットの仕上がり の掲示物(新聞やペット自慢等)を作成する。 ⑤オーブンキャンパス係:オープンキャンパスの学	いらのオータ 頃かりし、領 る用品の名 の写真など	ダーを聞いたり、犬を fl収書を渡す。また、 王庫をチェックし、補う 、、PT総合科インスタ	その日の売り上け Eしたいものを担f グラムに投稿する	壬に報告する。また、 っ。また、教室内と廊	教室、実習室のごみ 下の掲示板にPT総合	拴 てを出当する
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレーる。期末試験の結果、必要と認められるが 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点 は合格として単位を認定し、D評価の場合	ヹンテーシ 場合には 〔~79点∶[νョンによって行れ 追試験を実施す 良)、C(60点 [~] 69点	っれ、受験資材 る。 ∷可)、D(0点 [~] !	各として授業実施	の出席率80%以_	上を要件としてい
使用	教材	筆記用具、PC等						
授業を	1学習 方法	グループ内で共有したい情報や、学科内	に発信し	たい情報などを	考える。			
学期	ターム	項目				内容·準備資料	料等	
	1	オリエンテーション					編成(5グループ)	
	1 2	オリエンテーション 各班での活動			5つのグルー	プにわかれ、各自		持つ。1~2か月ご
	•			•1, 2年生合同の とのローテーショ	5つのグルー: ンで係を変えて	プにわかれ、各自 ていく。		
	2	各班での活動		・1, 2年生合同の とのローテーショ ○初回なので改	5つのグルー: ンで係を変え ^っ 善ポイント、よっ	プにわかれ、各自 ていく。 くできたポイント等	自担当の係を受け	న 。
	2	各班での活動 各班での活動1-1		・1, 2年生合同の とのローテーショ ○初回なので改	5つのグルー: ンで係を変えっ 善ポイント、よっ 班ごとに話合し	プにわかれ、各自 ていく。 くできたポイント等 いをし、発表に向	自担当の係を受け 等随時まとめさせ けて準備をする。	న 。
	2 3 4	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2	(・1,2年生合同の とのローテーショ ○初回なので改 ○まとめをもとに ○学科内だけでク	5つのグルー: ンで係を変えて 善ポイント、よく 班ごとに話合い なく、学外の人	プにわかれ、各自 ていく。 くできたポイント いをし、発表に向 の目を意識して	自担当の係を受け 等随時まとめさせ けて準備をする。	ঠ _°
授	2 3 4 5	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3		・1,2年生合同のとのローテーショ 〇初回なので改き 〇まとめをもとに 〇学科内だけで トリミングサロン 各班、活動の中で	5つのグルー: っつで係を変えっ 善ポイント、よい 班ごとに話合い はく、学外の人 はお経営してい	プにわかれ、各自 ていく。 くできたポイント等 いをし、発表に向 の目を意識している方による、現代 と、反省点をま	自担当の係を受け 等随時まとめさせ けて準備をする。 活動をする。 生のペット業界に とめ報告する。次	ঠ _°
業 計	2 3 4 5	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3 特別授業(外部企業による講演)		・1,2年生合同のとのローテーション の初回なので改きのまとめをもとに の学科内だけでありましたが、 トリミングサロンを 各班、活動の中でそれを引継ぎ、次	5つのグルー: つで係を変えった。 善ポイント、よっかでは、学外の人はお経営してい でうまくいった。 に回からの活動	プにわかれ、各自 ていく。 くできたポイント等 いをし、発表に向 の目を意識している方による、現れ こと、反省点をまま の計画をたてる	自担当の係を受け 等随時まとめさせ けて準備をする。 活動をする。 生のペット業界に とめ報告する。次	る。
業 計 画	2 3 4 5 6	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3 特別授業(外部企業による講演) 報告会1、引継ぎ、準備		・1,2年生合同のとのローテーショ ○初回なので改 ○まとめをもとに ○学科内だけでク トリミングサロンラ 各班、活動の中で それを引継ぎ、ク ○各般の発表を	5つのグループンで係を変える 善ポイント、よく 班ごとに話合い よく、学外の人 よお経営してい でうまくいったる でして注意する	プにわかれ、各自 ていく。 くできたポイント等 いをし、発表に向 の目を意識している方による、現れ と、反省点をま の計画をたてる るポイントを意識	自担当の係を受け 等随時まとめさせ けて準備をする。 活動をする。 生のペット業界に とめ報告する。次	る。 ついての講演 の担当になる班は
業 計	2 3 4 5 6 7 8	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3 特別授業(外部企業による講演) 報告会1、引継ぎ、準備 各班での活動2-1		・1,2年生合同のとのローテーショ ○初回なので改 ○まとめをもとに ○学科内だけでク トリミングサロンラ 各班、活動の中で それを引継ぎ、ク ○各般の発表を	5つのグルー: つつで係を変えている。 まポイント、よらいでに話合いなく、学外の人はお経営していている。 このできないった。 このからの活動では、ここに話合いて注意する。 このできます。 このできます。	プにわかれ、各自 ていく。 (できたポイント等 いをし、発表に向 の目を意識して る方による、現 と、反省点をま の計画をたてる るポイントを意識 いをし、発表に向	自担当の係を受け 等随時まとめさせ けて準備をする。 活動をする。 生のペット業界に とめ報告する。次 して活動をする。	る。 ついての講演 の担当になる班は
業計画前	2 3 4 5 6 7 8	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3 特別授業(外部企業による講演) 報告会1、引継ぎ、準備 各班での活動2-1 各班での活動2-2		・1,2年生合同のとのローテーションの回なので改まとめをもとに 〇学科内だけでから、活動の中でで、一次の発表をでいる。との発表をでいる。	5つのグルーランで係を変えて 善ポイント、よら 班ごとに話合いなく、学外の人 よお経営していて でうまくいったる。 受けて注意する 班ごとに話合いないできます。 近く、学外の人 でうまくいったる。	プにわかれ、各自 ていく。 (できたポイント等 いをし、発表に向 の目を意識して る方による、現る と、反省点をま の計画をたてる るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識して こと、反省点をま	自担当の係を受け 等随時まとめさせ けて準備をする。 活動をする。 生のペット業界に とめ報告する。次 して活動をする。 けて準備をする。 はけて準備をする。 とめ報告する。次	る。 ついての講演 の担当になる班は
業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3 特別授業(外部企業による講演) 報告会1、引継ぎ、準備 各班での活動2-1 各班での活動2-2 各班での活動2-3		・1,2年生合同のとのローテーションの回なので改っていまとめをもとにの学科内だけででいまった。 ・リミングサロンを表れを引継ぎ、なの書とめをもとにの学れを引継ぎ、をのまとめをもとにの学科内だけでいます。	5つのグルーランで係を変えて 善ポイント、よく 班ごとに話合しなく、学外の人 はおいったで はいったで でうまくいったま 受けて注話合してい でうまくいったます。 でうまくいったます。 でうまくいったます。 でうまくいったます。 なく、学外の人 でうまくいったます。	プにわかれ、各自 ていく。 くできたポイント等 いをし、発表に向 の目を意識している方による、現 る方による、現 こと、反省点をまる。 るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識して、 の目を意識して、 こと、反省点をまる。 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の目を意識して、 の計画をたてる。	自担当の係を受け 等随時まとめさせ けて準備をする。 活動をする。 生のペット業界に とめ報告する。次 して活動をする。 けて準備をする。 はけて準備をする。 とめ報告する。次	る。 ついての講演 の担当になる班は の担当になる班は
業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3 特別授業(外部企業による講演) 報告会1、引継ぎ、準備 各班での活動2-1 各班での活動2-2 各班での活動2-3 報告会2、引継ぎ、準備		・1,2年生合同のとのローテーションの回なので改っていまとめをもとにの学科内だけででいまった。 ・リミングサロンを表れを引継ぎ、なの書とめをもとにの学れを引継ぎ、をのまとめをもとにの学科内だけでいます。	5つのグルーランで係を変えて ・ ボイント、よっ ・ ボイント、よっ ・ ボーンに話合い はく、学外の人 ・ よくに話合い なく、学外の方で で 回しているで で に ことに 話合い で ことに に またらの 活動 で に ことに 話合い で ことに またらの 活動 で に ことに またらの 活動 で に ことに またらの 活動 で に ことに またらの 活動 の に ことに またらの 活動	プにわかれ、各自 ていく。 (できたポイント等 いをし、発表に向 の目を意識して る方による、現る と、反省点をたる の計画をたてる るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識して こと、反面を表して の目を意識して いをし、発表に向	自担当の係を受け 等随時まとめさせ けて準備をする。 活動をする。 生のペット業界に とめ報告する。次 して活動をする。 けて準備をする。 活動をする。 といれて にはない。 にはなない。	る。 ついての講演 の担当になる班は の担当になる班は
業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9 10	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3 特別授業(外部企業による講演) 報告会1、引継ぎ、準備 各班での活動2-1 各班での活動2-2 各班での活動2-3 報告会2、引継ぎ、準備 各班での活動3-1		・1,2年生合同のションとのローテンションのでは、	5つのグルーランで係を変えてきずイント、よっかで係を変えてきがいまった。まずでは、学外の人は、でうまかいの意は、学いのでは、学いのでは、できないのでは、できないのでは、できないのでは、できないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	プにわかれ、各自 でいく。 (できたポイント等 いをし、発表に向 の目を意識して、 る方による、現る と、計画を表える。 ながれていたを意に向 の目を意識になる。 の日を意識になる。 の日を意識になる。 の日を意識になる。	自担当の係を受け 等随時まとめさせ けて準備をする。 活動をする。 生のペット業界に とめ報告する。次 して活動をする。 にはて準備をする。 には、 活動をする。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	る。 ついての講演 の担当になる班は の担当になる班は

履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

期末試験フィードバック

			業計画	画(シラ	バス)			
科目	1名	ペット総合演習 I			指導扣	当者名	佐藤	美希子
	 経験				7.1.7.		実務経験:	
	時期	<u> </u> 通年 前期・後期		対象学	 科学年			<u> </u> 1年
	 方法	講義:	 演習∶○		····· 実 [:]	習:	T	
	多数 引数	56時間		固時間数				
		就職に向けて実践的な知識や技術を身に ①受付係:トリミング実習の際、受付をし、 ②会計係:サロン実習の際、お客様から料 売り上げを事務局に渡す。 ③消耗品管理、掃除係:ペット総合科で使、 室のごみ捨てを担当する。 ④SNS/掲示板係:実習の様子やカットの仕にPT総合科の事に関する内容の掲示物(⑤オープンキャンパス係:オープンキャンパる。	着けること: お客様から 金をお預か 用している。 士上がりの! 新聞やペッ	ができる。 のオーダー: いりし、領収 用品の在庫: 写真など、P' 小自慢等)を	を渡す。また、 をチェックし、補 「総合科インスタ 作成する。	預かったりする その日の売り」 たしたいものを グラムに投稿。	る。 とげの確認と、20日 担任に報告する。 する。また、教室内	また、教室、実習可と廊下の掲示板
評価評価	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼ、る。期末試験の結果、必要と認められる場成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~は合格として単位を認定し、D評価の場合	ンテーション 合には追記 79点: 良)、	ンによって行 式験を実施す C(60点~69点	われ、受験資格 る。 ā:可)、D(0点 [~] 5	として授業実施	匝の出席率80%以」	上を要件としてい
使用	教材	筆記用具、PC等						
授業タ のブ	卜学習 5法	グループ内で共有したい情報や、学科内に	発信したい	ハ情報などを	考える。			
学期	ターム	項目			,	内容·準備資	料等	
学期	ターム 1	前期振り返りと後期の目標設定	各班	Hごとに前期			料等 	てる。
学期					の振り返りをし、	こうきの活動の		こる。
学期	1	前期振り返りと後期の目標設定	O名	ト般の発表を	の振り返りをし、 受けて注意する	こうきの活動の)目標と計画を立て	
学期	1 2	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1	O名 Oま	ら般の発表を ミとめをもとに	の振り返りをし、 受けて注意する	こうきの活動のポイントを意識をし、発表に向	の目標と計画を立て はして活動をする。 可けて準備をする。	
学期	1 2 3	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2	〇名 〇ま 〇字	ト般の発表を とめをもとに 全科内だけで I、活動の中	の振り返りをし、 受けて注意する 班ごとに話合い なく、学外の人の でうまくいったこ	こうきの活動のポイントを意識をし、発表に向り目を意識してと、反省点をま	D目標と計画を立て して活動をする。 切けて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次	
学期	1 2 3 4 5	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3	○名 ○ま ○学 各班 それ	ト般の発表を そとめをもとに 全科内だけで ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の振り返りをし、 受けて注意する 班ごとに話合い なく、学外の人の でうまくいったこ 欠回からの活動	こうきの活動のポイントを意識をし、発表に向り目を意識してと、反省点をまの計画をたてる	D目標と計画を立て して活動をする。 切けて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次	の担当になる班は
授	1 2 3 4 5	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備	○名 ○ま ○字 各班 それ ○名	ト般の発表を とめをもとに や科内だけで I、活動の中 とを引継ぎ、2 ト般の発表を	の振り返りをし、 受けて注意する 班ごとに話合いなく、学外の人のでうまくいったこ 大回からの活動 受けて注意する	こうきの活動のポイントを意識をし、発表に向り目を意識してと、反省点をまの計画をたてる。ポイントを意識	の目標と計画を立て して活動をする。 切けて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次(5)。	の担当になる班は
授業計	1 2 3 4 5 6	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備 各班での活動5-1	○名 ○ま ○学 各班 ○名 ○名	A般の発表を とめをもとに を科内だけで I、活動の中 とす引継ぎ、こ A般の発表を ことめをもとに	の振り返りをし、 受けて注意する 班ごとに話合いなく、学外の人のでうまくいったこ 大回からの活動 受けて注意する	こうきの活動のポイントを意識をし、発表に向り目を意識してと、反省点をまの計画をたてる。ポイントを意識をし、発表に向きて、ポイントを意識をし、発表に向きている。	の目標と計画を立て して活動をする。 切けて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次の して活動をする。	の担当になる班は
授業計画	1 2 3 4 5 6 7	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備 各班での活動5-1 各班での活動5-2	○名 ○字 ・	ト般の発表を とめをもとに や科内だけで H、活動の中 とを引継ぎ、2 ト般の発表を ととめをもとに や科内だけで H、活動の中	の振り返りをし、 受けて注意する ・班ごとに話合いなく、学外の人のでうまくいったこ 吹回からの活動 受けて注意する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	こうきの活動のポイントを意識をし、発表に向り目を省点をたる意識になる。 ポイントを意識になる。 か計画をたて意識パイントを意識になる。 でし、発表に向り目を高いないできまった。 と、自を音楽をしてしている。 でし、たまでは、たまでは、たまでは、たまでは、たまでは、たまでは、たまでは、たまでは	D目標と計画を立て して活動をする。 同けて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次の して活動をする。 同けて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次の	の担当になる班は
授業計	1 2 3 4 5 6 7 8	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備 各班での活動5-1 各班での活動5-2 各班での活動5-3	○ 名 ○ 字 ・ 名 ・ 名 ・ 名 ・ 名 ・ 名 ・ 名 ・ 名 ・ 名 ・ 名 ・ 名	ト般の発表を をもとに を科内だけで H、活動の中、 を引継ぎ、 A・般の発表を をとめをもとに を科内だけで H、活動ので、 は を引継ぎ、 A・とのをもとに を引継ぎ、 A・とのをもとに を引継ぎ、 A・とのをもとに を引継ぎ、 A・とのをもとに	の振り返りをし、 受けて注意する ・班ごとに話合い なく、学外の人の でうまくいったこ で回からの活動の 受けて注意する ・班ごとに話合い なく、学外の人の でうまくいったこ でのからの活動の	こうきの活動の ポイントを意識 をし、発表に向 り目を意識してまる。 と、計画をおきる。 ポイントを意識 をし、発表に向 り目を意識してまる。 は、発表に向 り目を高さない。 と、計画をおきる。	D目標と計画を立て して活動をする。 同けて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次の して活動をする。 同けて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次の	の担当になる班は
授業計画後	1 2 3 4 5 6 7 8 9	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備 各班での活動5-1 各班での活動5-2 各班での活動5-3 報告会5、引継ぎ、準備	○名 ○字 ・	ト般の発表を をもとに を科内だけで は、活動の発表を をもとに を対内だけで は、活動の発表を をもとに を対内だけで は、活動継ぎ、 を科内だけで は、活動継ぎ、 を引継ぎ、 を引継ぎ、 を引継ぎ、 を引継ぎ、 を引継ぎ、 を引継ぎ、 を引きる。 とれる。 とれる。 とれる。 とれる。 とれる。 とれる。 とれる。 とれ	の振り返りをし、 受けて注意する ・班ごとに話合いなく、学外の人のでうまくいったこ で回からの活動 受けて注意する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	こうきの活動のポイントを意識をし、発表に向り目を省点をてきる。ポイントを意識点をできまった。 おいま でいる まま はい かい	D目標と計画を立て して活動をする。 にて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次の して活動をする。 にて活動をする。 になりまする。 とめ報告する。次の	の担当になる班は
授業計画後	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備 各班での活動5-1 各班での活動5-2 各班での活動5-3 報告会5、引継ぎ、準備	○名 ○字 ・	新般の発表を をとめをもとに を科内だけで中、 活動の発表を をりをもとに を科内だけで中、 活動とがをもとに を科内だけで中、 を科内だけで中、 を引継ぎ表を をもとに をもとに	の振り返りをし、 受けて注意する ・班ごとに話合いなく、学外の人のでうまくいったこ で回からの活動 受けて注意する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	こうきの活動のポイントを意にしてまる。 ポイントを意識点たた意にしてまる。 ポイン・発表に関係を表表に関係している。 ポイン・発表に関係している。 おいまれている。 はいまれている。	D目標と計画を立て して活動をする。 同けて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次の して活動をする。 同けて準備をする。 とめ報告する。次の して活動をする。	の担当になる班は
授業計画後	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備 各班での活動5-1 各班での活動5-2 各班での活動5-3 報告会5、引継ぎ、準備 各班での活動6-1 各班での活動6-2	○ 名 さ 字 班	新般の発表をもとに 全科内だけで中に表引継ぎ表を もとめをもとに を科内だけで中に表引継ぎ表を を科内だけで中に表引継ぎ表を を科内だけで中による を科内だけで中による を科内だけで中による を科内だけで中による を科内だけで中による を科内だけで中による を科内だけで中による を科内だけで中による。	の振り返りをし、 受けて注意する ・班ごとに話合いなく、学外の人のでのからの活動の 受けてとに話合いなく、学外の人のでなく、学外の人ので見からの活動を 受けてとに話合いなく、学外のたこ 受けて注意する ・班ごとに話合いなく、学外の人のなく、学外の人のなく、	こうきのおき にいて まる 識に にいて まる 識に にいて まる 識に たたき ないがった を しんかいがった という という かん き は 点 た き ないがった という	D目標と計画を立て して活動をする。 同けて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次の して活動をする。 同けて準備をする。 といる といる にて準備をする。 といる にて準備をする。 といる にて、次の には、で、か、た。で、か、た。で、か、た。で、か、た。で、か、た。で、た。で、た。で、た。で、た。で、た。で、た。で、た。で、た。で、た。で	の担当になる班はの担当になる班はの担当になる班は

春休み期間OCに参加する学生の確認と打ち合わせ。

16

履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

期末試験フィードバック

期末試験フィードバック

			授業計	画(シラ	バス)			
科目	目名	コミュニケー	ーション演習		指導担当	者名	佐藤	美希子
実務	経験						実務経験:	
開講	時期	前期		対象学	科学年		全学科1年	
授業	方法	講義:	演習	1:0	実習:		実	₹技:
単位	立数	通年 2単位		週時間数	7	7月単月の授	受業/28時間	
学習到	達目標	サーティファイ コミュニケーショ.	ン検定初級の取	得、ロールプレイ	ングを通してコミュニ	ニケーションカ	1の向上を目指	₫。
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成 満点で評価していく。 満点で評価していく。 別末試験は実技試験や筆記試 る。期末試験の結果、必要と認め 成績評価は、A(80点*100点:優) は合格として単位を認定し、D評	険、プレゼンテー かられる場合には 、B(70点~79点:	ションによって行 t追試験を実施す 良)、C(60点~69 g	カれ、受験資格とし つる。 点:可)、D(0点~59点	で授業実施の	D出席率80%以	上を要件としてい
使用	教材	コミュニケーション検定初級 テュ	キスト					
	朴学習 方法	テキストを使用し、過去問題を回	答する					
学期	ターム	項目			内容	- 準備資料等	等	
	1	オリエンテーション		授業の目的、使	用教材についてのヨ	理解、授業の	進行について記	
	2	パート1 コミュニケーションセオ	リー(理論)	1ー1コミュニケー	ーションを考える、2	-1目的に即	して聞く	
	3	パート1 コミュニケーションセオ	リー(理論)	2-2傾聴・質問	する			
	4	パート1 コミュニケーションセオ	リー(理論)	3-1目的を意識	敞する			
	5	パート1 コミュニケーションセオ	リー(理論)	3-2話を組み立	なてる			
	6	パート1 コミュニケーションセオ	リー(理論)	3-3言葉を選び	が抜く			
授業	7	パート1 コミュニケーションセオ	リー(理論)	3-4表現伝達で	する			
業計	8	パート2 コミュニケーションプラク	フティス(実践)	1-1来客応対、	1-2電話応対			
画	9	パート2 コミュニケーションプラク	フティス(実践)	1-3アポイント	メント・訪問・挨拶、	1-4情報共有	有の重要性	
前 期	10	パート2 コミュニケーションプラク	フティス(実践)	1ー5チームコミ	ュニケーション			
	11	パート2 コミュニケーションプラク	フティス(実践)	2-1接客営業、	. 2-2クレーム対応	<u>.</u>		
	12	パート2 コミュニケーションプラク	フティス(実践)	2-3会議・取材	・ヒアリング、2-4	面接		
	13	検定対策		模擬試験				
	14	期末試験		検定本番				
	15							
	15							

			授業記	†画(シラ	バス)			
科目	1名	修了制	制作 I		指導担当	4者名	佐藤	美希子
実務	経験						実務経験:	
開講	時期	後期		対象学	科学年	/	ペット総合科 1	年
授業	方法	講義:	演	習:	実習:	0	美	※技 :
時間	引数	180時間		週時間数		6週/1	80時間	
学習到	達目標	・学科で学んだ内容を活かしたがまた。・テーマを掲げ対象者を意識したがまらの作品をアピールするプレー・	:作品制作	が出来る				
評価評価		・修了生:それぞれの学科の規定 また、学科内で行われるプレセ 評価項目「作品の量」「作品の質	ヹンテーションに	て完成品を発表し	、卒業修了制作 原	或となる作品制 で作品展示を	制作をすること Eすること	
使用	教材	それぞれの学科制作毎の規定に	こ沿った画材、教	対を使用する事				
授業を	↑学習 5法	制作にあたり、事前の企画・計画	画をそれぞれ複 数	数の先生方と行い	ヽ、チェックをもらゔ゚	\$		
学期	ターム (週)	授業計画 後期	Я					
	(101)							
	1	作品制作開始		事前に準備して	いた企画・計画に	沿ってそれぞれ	れ制作にあたる	
1 741		作品制作開始作品制作2			いた企画・計画に		れ制作にあたる	
1 20	1			個別添削を行い		ていく		,
	1 2	作品制作2		個別添削を行い	ながら制作を進め	ていく		ı
	1 2	作品制作2		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく	ながら制作を進め	ていくコン準備と展示		,
1.00	1 2 3	作品制作2		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ	ながら制作を進め、プレゼンテーショ	でいくコン準備と展示	企画についても	
授	1 2 3	作品制作2		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ 学科担任、学科	ながら制作を進め 、プレゼンテーショ ンテーションを実施	っていく ヨン準備と展示 西 内学生全てで	企画についても	ョンを聞く
授業計	1 2 3	作品制作2		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ 学科担任、学科	ながら制作を進め、プレゼンテーションを実施ンテーションを実施非常勤講師、学科・・展示計画・プ	っていく ヨン準備と展示 西 内学生全てで	企画についても	ョンを聞く
授業計画	1 2 3 4	作品制作2作品制作3		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ 学科担任、学科 ・制作のポイント 各教室での展示	ながら制作を進め、プレゼンテーションを実施ンテーションを実施非常勤講師、学科・・展示計画・プ	のでいく コン準備と展示 地 内学生全でで レゼン能力・	企画についても プレゼンテーシ 資料の見やすさ	ョンを聞く
授業計	1 2 3 4	作品制作2作品制作3		個別添削を行い中間発表を行い可視化していく学科内でプレゼ学科担任、学科・制作のポイント各教室での展示また、プレゼンラ	ながら制作を進め、プレゼンテーションを実施 非常勤講師、学科・・展示計画・プ	のでいく ヨン準備と展示 地 内学生全でで レゼン能力・ 指摘の修正と	企画についても プレゼンテーシ 資料の見やすさ 追加制作	ョンを聞く
授業計画 後	1 2 3 4	作品制作2 作品制作3 学科内プレゼンテーション 発表を受けての修正と展示準備		個別添削を行い中間発表を行い可視化していく学科内でプレゼ学科担任、学科・制作のポイント各教室での展示また、プレゼンラ展示計画の基本	ながら制作を進め、プレゼンテーションを実施ま常勤講師、学科・・展示計画・プミ計画と準備、ニーションで受けた	のでいく ヨン準備と展示 内学生全でで レゼン能力・ 指摘の修正と の一般来場者	企画についても プレゼンテーシ 資料の見やすさ 追加制作 を入れての作品	ョンを聞く
授業計画 後	1 2 3 4	作品制作2 作品制作3 学科内プレゼンテーション 発表を受けての修正と展示準備	Lim .	個別添削を行い中間発表を行い可視化していく学科内でプレゼ学科担任、学科・制作のポイント各教室での展示また、プレゼンラ展示計画の基本	ながら制作を進め、プレゼンテーションを実施非常勤講師、学科・・展示計画・プラーションで受けたできまった。	のでいく ヨン準備と展示 内学生全でで レゼン能力・ 指摘の修正と の一般来場者	企画についても プレゼンテーシ 資料の見やすさ 追加制作 を入れての作品	ョンを聞く
授業計画 後	1 2 3 4	作品制作2 作品制作3 学科内プレゼンテーション 発表を受けての修正と展示準備		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ 学科担任、学科 ・制作のポイント 各教室での展示 また、プレゼンラ 展示計画の基本 ・学科内の作品 *学科内シフトに	ながら制作を進め、プレゼンテーションを実施非常勤講師、学科・・展示計画・プラーションで受けたできまった。	のていく コン準備と展示 中央 サイン で かく かく かん	企画についても プレゼンテーシ 資料の見やすさ 追加制作 を入れての作品	ョンを聞く
授業計画 後	1 2 3 4	作品制作2 作品制作3 学科内プレゼンテーション 発表を受けての修正と展示準備		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ 学科担任、学科 ・制作のポイント 各教室での展示 また、プレゼンラ 展示計画の基本 ・学科内の作品 *学科内シフトに	ながら制作を進め、プレゼンテーションを実施非常勤講師、学科・・展示計画・プラ 計画と準備、テーションで受けたでき展示をし、外部の見どころの紹介により登校	のていく コン準備と展示 中央 サイン で かく かく かん	企画についても プレゼンテーシ 資料の見やすさ 追加制作 を入れての作品	ョンを聞く
授業計画 後	1 2 3 4	作品制作2 作品制作3 学科内プレゼンテーション 発表を受けての修正と展示準備		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ 学科担任、学科 ・制作のポイント 各教室での展示 また、プレゼンラ 展示計画の基本 ・学科内の作品 *学科内シフトに 展示終了後は指	ながら制作を進め、プレゼンテーションを実施非常勤講師、学科・・展示計画・プラ 計画と準備、テーションで受けたでき展示をし、外部の見どころの紹介により登校	のでいく ヨン準備と展示 中内学生全でで レゼン能力・ 指摘の修正と の一般来場者・一般来場者	企画についても プレゼンテーシ 資料の見やすさ 追加制作 を入れての作品	ョンを聞く

			授業計	†画(シラ	バス)		
——科E	目名	進路研	研究 Ⅱ		指導担当者名	就職担	当職員
実務	経験			L		実務経験:	
開講	時期	通年 前期・後期	FI	対象学	科学年	全学科2、3年	
授業	方法	講義:○	演	習:	実習:	実技	支:
時間	引数	通年28時間		週時間数		1時間	
学習到	達目標	就職活動指導 *学生の進路にあわせて柔い (プロ希望、業界志望、その他		ださい。			
評価評価		授業態度、提出物等上記成約	漬評価を100点	満点で点数化し	総合評価する		
使用	教材	動画教材 SUCCESS					
授業を		学科授業を受けて、また、この授	受業を受けて将来	き自分のなりたい	姿を常に考える事		
学期	ターム	項目			内容•準備資	資料等	
. ,,,							
	1	1年次の確認		履歴書、入退室	の確認		
	1 2	1年次の確認 受験後の報告			の確認	不合格した場合の振り	返り
				動画なし 受験征		不合格した場合の振り	返り
	2	受験後の報告		動画なし 受験行 5-1~5-2まで 面	後の報告と内定後の生活、ス		
	2	受験後の報告就職試験のマナー		動画なし 受験行 5-1~5-2まで 面	後の報告と内定後の生活、2 接、試験時の確認 _{参照 P39} ~45 P94~ 各種ビジネス文章の		
	2 3 4	受験後の報告 就職試験のマナー 巻末資料確認		動画なし 受験名 5-1~5-2まで 面 『以前のテキストサクセス	後の報告と内定後の生活、2 接、試験時の確認 _{参照 P39} ~45 P94~ 各種ビジネス文章の で方の見直し		
授	2 3 4 5	受験後の報告 就職試験のマナー 巻末資料確認 履歴書確認 1		動画なし 受験6 5-1~5-2まで 面 "以前のテキストサクセス 3-8 全体の書き	後の報告と内定後の生活、 接、試験時の確認 参照 P39 ⁷⁴⁵ P94 ⁷ 各種ビジネス文章の 方の見直し PPRの見直し		
授業計	2 3 4 5 6	受験後の報告 就職試験のマナー 巻末資料確認 履歴書確認 1 履歴書確認 2		動画なし 受験名 5-1~5-2まで 面 "以前のテキストサクセス 3-8 全体の書き 3-4~3-6-2 自己 3-7~3-8 志望重	後の報告と内定後の生活、 接、試験時の確認 参照 P39 ⁷⁴⁵ P94 ⁷ 各種ビジネス文章の 方の見直し PPRの見直し	の書き方やメール、インターネット	
授業計画	2 3 4 5 6	受験後の報告 就職試験のマナー 巻末資料確認 履歴書確認 1 履歴書確認 2 履歴書確認 3		動画なし 受験名 5-1~5-2まで 面 "以前のテキストサクセス 3-8 全体の書き 3-4~3-6-2 自己 3-7~3-8 志望重 3-1~3-3,3-6~3-6	接、試験時の確認 接、試験時の確認 参照 P39°45 P94° 各種ビジネス文章の 方の見直し CPRの見直し b機の見直し	の書き方やメール、インターネット	
授業計	2 3 4 5 6 7 8	受験後の報告 就職試験のマナー 巻末資料確認 履歴書確認 1 履歴書確認 2 履歴書確認 3 履歴書確認 3		動画なし 受験6 5-1~5-2まで 面 ~以前のテキストサクセス 3-8 全体の書き 3-4~3-6-2 自己 3-7~3-8 志望 3-1~3-3,3-6~3-6 4-1~4-5 面接て	後の報告と内定後の生活、2 接、試験時の確認 参照 P39°45 P94° 各種ビジネス文章の 方の見直し UPRの見直し が機の見直し 3-2 履歴書にふさわしい文	の書き方やメール、インターネット	
授業計画前	2 3 4 5 6 7 8	受験後の報告 就職試験のマナー 巻末資料確認 履歴書確認 1 履歴書確認 2 履歴書確認 3 履歴書確認 4 面接対策 1		動画なし 受験6 5-1~5-2まで 面 ~以前のテキストサクセス 3-8 全体の書き 3-4~3-6-2 自己 3-7~3-8 志望動 3-1~3-3,3-6~3-4 4-1~4-5 面接で 4-1~4-5 面接で	接の報告と内定後の生活、7 接、試験時の確認 **** ***	の書き方やメール、インターネット	
授業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9	受験後の報告 就職試験のマナー巻末資料確認履歴書確認 1履歴書確認 2履歴書確認 3履歴書確認 4面接対策 1面接対策 1		動画なし 受験6 5-1~5-2まで 面 ~以前のテキストサクセス 3-8 全体の書き 3-4~3-6-2 自己 3-7~3-8 志望動 3-1~3-3,3-6~3-4 4-1~4-5 面接で 4-1~4-5 面接で	後の報告と内定後の生活、7 接、試験時の確認 参照 P39~45 P94~ 各種ビジネス文章の で方の見直し LPRの見直し が機の見直し 6-2 履歴書にふさわしい文 での振る舞いについて に緊張をした時の対策,緊張し	の書き方やメール、インターネット	
授業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	受験後の報告 就職試験のマナー巻末資料確認履歴書確認 1履歴書確認 2履歴書確認 3履歴書確認 4面接対策 1面接対策 2面接対策 2面接対策 3		動画なし 受験名 5-1~5-2まで 面 ~以前のテキストサクセス 3-8 全体の書き 3-4~3-6-2 自己 3-7~3-8 志望 3-1~3-3,3-6~3-4 4-1~4-5 面接で 4-1~4-5 面接で	後の報告と内定後の生活、7 接、試験時の確認 参照 P39~45 P94~ 各種ビジネス文章の 方の見直し DPRの見直し D機の見直し の提の見直し である舞いについて 「緊張をした時の対策、緊張し をの話し方について	の書き方やメール、インターネット	
授業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	受験後の報告 就職試験のマナー 巻末資料確認 履歴書確認 1 履歴書確認 2 履歴書確認 3 履歴書確認 4 面接対策 1 面接対策 2 面接対策 2 面接対策 3		動画なし 受験名 5-1~5-2まで 面 「以前のテキストサクセス 3-8 全体の書き 3-4~3-6-2 自己 3-7~3-8 志望動 3-1~3-3,3-6~3-4-1~4-5 面接で 4-1~4-5 面接で 4-1~4-5 面接で 履歴書完成	後の報告と内定後の生活、7 接、試験時の確認 参照 P39~45 P94~ 各種ビジネス文章の 方の見直し DPRの見直し D機の見直し の提の見直し である舞いについて 「緊張をした時の対策、緊張し をの話し方について	の書き方やメール、インターネット	
授業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	受験後の報告 就職試験のマナー巻末資料確認履歴書確認 1履歴書確認 2履歴書確認 3履歴書確認 4面接対策 1面接対策 1面接対策 3個別指導期末試験		動画なし 受験名 5-1~5-2まで 面 「以前のテキストサクセス 3-8 全体の書き 3-4~3-6-2 自己 3-7~3-8 志望動 3-1~3-3,3-6~3-4-1~4-5 面接で 4-1~4-5 面接で 4-1~4-5 面接で 履歴書完成	後の報告と内定後の生活、7 接、試験時の確認 参照 P39~45 P94~ 各種ビジネス文章の 方の見直し DPRの見直し D機の見直し の提の見直し である舞いについて 「緊張をした時の対策、緊張し をの話し方について	の書き方やメール、インターネット	

履修上の留意点

- いる思想 *適宜一般教養の問題集も使ってテストをしてください。特に各期末試験で必ず入れてください。 *途中で就職研修が入ります。その時までに履歴書を書けるようにしておきましょう。 *各学科、各学生の様子を見ながら弾力的に進めてもらって結構です。 ※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

授業計画(シラバス)

			32214					
科	目名	就職多	€務Ⅱ		指導担	当者名	就職担	当職員
実務	経験						実務経験:	
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	科学年		全学科2、3年	
授業	方法	講義:○	演	習:	実	習:	実	技:
時	間数	通年28時間		週時間数			時間	
学習到	達目標	就職活動を始める前の準備						
	ī方法 ī基準	授業態度、提出物等						
使用	教材	動画教材 SUCCESS						
	外学習 方法	学科授業を受けて、また、この授	業を受けて将来	自分のなりたい	姿を常に考える	事		
学期	ターム	項目			内	容∙準備資料	斗等	
	1	前期の確認		履歴書、入退室	の確認			
	2	受験後の報告		P90 [~] 93 受験後	の報告と内定後	の生活、不合	格した場合の振り	返り
	3	就職試験のマナー						
	4	巻末資料確認		P66 [~] 89 面接、	試験時の確認			
	5	履歴書確認 1						
	6	履歴書確認 2		自己PRの見直し	,			
授 業	7	履歴書確認 3		志望動機の見直	īι			
計	8	筆記試験対策 1		P82 [~] 89 各種適	i性検査、一般常	識、作文		
画	9	筆記試験対策 2		P82 [~] 89 各種適	i性検査、一般常	識、作文		
後期	10	筆記試験対策 3		P82 [~] 89 各種適	i性検査、一般常	識、作文		
	11	個別指導		個人の状況に合	わせて指導			
	12	個別指導		個人の状況に合	わせて指導			
	-	/CD CULTACK TO		個人の状況に合	わせて指導			
	13	個別指導						
	13 14	期末試験		作文「卒業後の	進路と抱負」800	字程度で		
				作文「卒業後の	進路と抱負」800	字程度で		

履修上の留意点

- の留息点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない *適宜一般教養の問題集も使ってテストをしてください。特に各期末試験で必ず入れてください。 *途中で就職研修が入ります。その時までに履歴書を書けるようにしておきましょう。 *各学科、各学生の様子を見ながら弾力的に進めてもらって結構です。 ※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

		扫	受業計画(シラ/	バ ス)		
科目	1名	トリミング実習]	I	指導担当者名	平田	芳子
実務	経験	ドッグトリミング <i>の</i>)分野で10年超の実務実績	i がある。	実務経験:	有
開講	時期	通年 前期·後期	対象学科	科学年	ペット総合科 25	¥
授業	方法	講義:	演習:	実習:〇	実	技:
時間	引数	168時間	週時間数		6時間	
学習到	達目標	<科目主旨> モデル犬のトリミングを通し、トリミングオション能力の向上を図る。 〈到達目標〉 一通りのトリミング作業を一人で出来る		際の心構え等を習得を図	図る。グループ行動を通し	レコミュニケー
評価評価	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の評(満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレ る。期末試験の結果、必要と認められる 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70 は合格として単位を認定し、D評価の場	・ゼンテーションによって行れ 5場合には追試験を実施す 点~79点:良)、C(60点~69点	われ、受験資格として授 る。 i:可)、D(0点~59点:不可	業実施の出席率80%以上	:を要件としてい
使用	教材	トリミング道具一式				
授業を		トリミング作業の予習復習				
学期	ターム	項目		内容·準	備資料等	
	1	復習 モデル犬実習	作業の流れ、道具	具の使い方、コミュニケー	ーションを重点指導	
	2	モデル犬実習	プードル、シーズ	一のモデル犬カット		
	3	モデル犬実習	プードル、シーズ	ー、ポメラニアンのモデ	ル犬カット	
	4	モデル犬実習	プードル、ヨークシ	シャテリア、ダックスフン	トのモデル犬カット	
	5	モデル犬実習	プードル、チワワ	、マルプーのモデル犬力	コット	
	6	モデル犬実習	プードル、柴犬、	ゴールデンレトリバーの	モデル犬カット	
授	7	モデル犬実習	プードル、パピヨ	ン、ヨークシャテリアのモ	デル犬カット	
業計	8	モデル犬実習	プードル、ポメラニ	ニアン、チワワのモデル:	犬カット	
画	9	モデル犬実習	プードル、シュナ	ウザー、ペキニーズのモ	∃デル犬カット	
前 期	10	モデル犬実習	プードル、ビション	ノフリーゼ、ヨークシャテ	リアのモデル犬カット	
	11	モデル犬実習	プードル、ビーグ	ル、MIX犬のモデル犬が	カット	
	12	モデル犬実習	プードル、イング	リッシュセッター、シェット	·ランドシープドッグのモラ	デル犬カット
	13	モデル犬実習	プードル、柴犬、	 ジャックラッセルのモデル	ル犬カット	
	14	モデル犬実習 前期反省	プードル、ラフコ!	リー、ポメプーのモデルフ	犬カット	

授業計画(シラバス)

科	目名	トリミング	実習Ⅱ	指導担語	当者名	平田	芳子
実務	経験	ドッグトリミ	ングの分野で10年超の実務実	績がある。		実務経験:	有
開講	時期	通年 前期・後期	対象	学科学年	^	ペット総合科 2	年
授業	方法	講義:	演習:	実習	:O	実	技:
時	間数	通年168時間	週時間数		6時	持間	
学習到	達目標	<科目主旨> モデル犬のトリミングを通し、トリミション能力の向上を図る。	ジグ技術の向上と動物と接す	る際の心構え等を	習得を図る。グ	ループ行動を通	しコミュニケー
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果 満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験 る。期末試験の結果、必要と認め 成績評価は、A(80点~100点:優)、 は合格として単位を認定し、D評価	i、プレゼンテーションによって られる場合には追試験を実施 B(70点~79点:良)、C(60点~6	テわれ、受験資格と する。 9点:可)、D(0点 [~] 59	として授業実施の	の出席率80%以」	上を要件としてい
使用	教材	トリミング道具一式					
	1学習 方法	トリミング作業の予習復習					
学期	ターム	項目		内	容∙準備資料	等	
	1	モデル犬実習	プードル、シー	ズーのモデル犬カ	ット		
	1 2	モデル犬実習		ズーのモデル犬カ ズー、ポメラニアン		/	
			プードル、シー		のモデル犬カッ		
	2	モデル犬実習	プードル、シー プードル、ヨー	ズー、ポメラニアン	のモデル犬カッ フスフントのモデ		
	2	モデル犬実習	プードル、シー プードル、ヨー プードル、チワ	ズー、ポメラニアン	のモデル犬カッ フスフントのモデ デル犬カット	・ル犬カット	
	2 3 4	モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	プードル、シー プードル、ヨー プードル、チワ プードル、柴ナ	ズー、ポメラニアン クシャテリア、ダック ワ、マルプーのモラ	クロモデル犬カット クスフントのモデ デル犬カット バーのモデルフ	ドル犬カット	
授業	2 3 4 5	モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	プードル、シー プードル、ヨー プードル、チワ プードル、柴ナ プードル、パヒ	ズー、ポメラニアン クシャテリア、ダック ワ、マルプーのモラ 、ゴールデンレトリ	のモデル犬カッ フスフントのモデ デル犬カット バーのモデルフ Jアのモデル犬	ドル犬カット	
業 計	2 3 4 5	モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	プードル、シー プードル、ヨー プードル、チワ プードル、柴ナ プードル、パピ	ズー、ポメラニアン クシャテリア、ダック ワ、マルプーのモデ 、ゴールデンレトリ ヨン、ヨークシャテ!	のモデル犬カッ フスフントのモデ デル犬カット バーのモデルフ Jアのモデル犬	ドル犬カット 犬カット カット	
業 計 画	2 3 4 5 6	モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	プードル、シー プードル、まワ プードル、柴力 プードル、パピ プードル、ポメ プードル、シュ	ズー、ポメラニアン クシャテリア、ダック ワ、マルプーのモラ 、ゴールデンレトリ ヨン、ヨークシャテリ ラニアン、チワワの	のモデル犬カックスフントのモデ デル犬カット バーのモデルフ リアのモデル犬 モデル犬カット ーズのモデル犬	ドル犬カット 犬カット カット カット	
業 計	2 3 4 5 6 7 8	モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	プードル、シー プードル、ヨー プードル、チワ プードル、火 プードル、パピ プードル、ポメ プードル、シュ プードル、ビシ	ズー、ポメラニアンクシャテリア、ダック ワ、マルプーのモラ 、ゴールデンレトリ ヨン、ヨークシャテリ ラニアン、チワワの ナウザー、ペキニー	ウスフントのモデル犬カット バーのモデルプ Jアのモデル犬 モデル犬カット -ズのモデル犬	ドル犬カット 犬カット カット カット	
業計画後	2 3 4 5 6 7 8	モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	プードル、シー プードル、ヨー プードル、チワ プードル、パピ プードル、ポメ プードル、シュ プードル、ビシ プードル、ビシ	ズー、ポメラニアンクシャテリア、ダック ワ、マルプーのモニンゴールデンレトリヨン、ヨークシャテリラニアン、チワワのナウザー、ベキニーョンフリーゼ、ヨーク	のモデル犬カット アスフントのモデルス バーのモデルス リアのモデル犬 モデル犬カット ーズのモデル犬 フシャテリアのモ デル犬カット	ポープ・ ポカット カット カット デル犬カット	デル犬カット
業計画後	2 3 4 5 6 7 8 9	モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習 モデル大実習	プードル、シー プードル、まワ プードル、 朱力 プードル、 パピ プードル、 ポメ プードル、 シュ プードル、 ビシ プードル、 ビシ プードル、 ビ・ プードル、 ビー	ズー、ポメラニアンクシャテリア、ダック ワ、マルプーのモデ 、ゴールデンレトリ ヨン、ヨークシャテ! ラニアン、チワワの ナウザー、ペキニー ョンフリーゼ、ヨーク グル、MIX犬のモデ	のモデル犬カット フスフントのモデ デル犬カット バーのモデル犬 リアのモデル犬 モデル犬カット ーズのモデル犬 フシャテリアのモ デル犬カット ・シェットランドシ	ドル犬カット 犬カット カット カット デル犬カット マープドッグのモ・	デル犬カット
業計画後	2 3 4 5 6 7 8 9 10	モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	プードル、シー プードル、ヨー プードル、チワ プードル、パピ プードル、ポメ ブードル、シュ プードル、ビシ プードル、ビシ プードル、ビン プードル、イン プードル、イン	ズー、ポメラニアンクシャテリア、ダックワ、マルプーのモニー・、ゴールデンレトリョン、ヨークシャテリラニアン、チワワのナウザー、ペキニーョンフリーゼ、ヨーグル、MIX犬のモニグリッシュセッター、	のモデル犬カット バーのモデルプ リアのモデル犬 ・モデル犬カット ーズのモデル犬 ウシャテリアのモ デル犬カット ・シェットランドシ のモデル犬カッ	ドル犬カット 犬カット カット カット デル犬カット マープドッグのモ・	デル犬カット
業計画後	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	プードル、シー プードル、ヨー プードル、チワ プードル、米ナ プードル、パピ プードル、シュ プードル、ビシ プードル、ビ プードル、イン プードル、イン プードル、テフ	ズー、ポメラニアンクシャテリア、ダックワ、マルプーのモニュールデンレトリョン、ヨークシャテリラニアン、チワワのナウザー、ペキニョンフリーゼ、ヨーグル、MIX犬のモニグル、MIX犬のモニ、ジャックラッセル	のモデル犬カット アスフントのモデルプ バーのモデル犬 リアのモデル犬 モデル犬カット ーズのモデル犬 アシャテリアのモ デル犬カット シェットランドシ のモデル犬カット	ドル犬カット 犬カット カット カット デル犬カット マープドッグのモ・	デル犬カット
業計画後	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習 モデル犬実習	プードル、シー プードル、ヨー プードル、チワ プードル、米ナ プードル、パピ プードル、シュ プードル、ビシ プードル、ビ プードル、イン プードル、イン プードル、テフ	ズー、ポメラニアンクシャテリア、ダックワ、マルプーのモニン、ゴールデンレトリヨン、ヨークシャテリラニアン、チワワのナウザー、ベキニーョンフリーゼ、ヨーググル、MIX犬のモニ、ジャックラッセルコリー、ポメプーのニ	のモデル犬カット アスフントのモデルプ バーのモデル犬 リアのモデル犬 モデル犬カット ーズのモデル犬 アシャテリアのモ デル犬カット シェットランドシ のモデル犬カット	ドル犬カット 犬カット カット カット デル犬カット マープドッグのモ・	デル犬カット

履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

授業計画(シラバス)

科目	1名				指導担	当者名	志村、佐	藤、渡邊
実務	経験						実務経験:	
開講	時期	通年 前期・後期]	対象学	科学年		全学科2年	
授業	方法	講義:	演習	0:5	実習	実	技:	
時間	引数	56時間		週時間数		2周	持間	
学習到	達目標	・学校の特徴でもある複数分野で ・授業内における複数のカリキュができ、自身の可能性と得意分!	ラムメニューから				とで無理なく学び	がにつなげること
評価評価		学期末試験の実施及び実習成 満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試 る。期末試験の結果、必要と認る 成績評価は、A(80点~100点:優 は合格として単位を認定し、D評	検、プレゼンテー かられる場合には 、B(70点~79点:	ションによって行 t追試験を実施す 良)、C(60点~69;	われ、受験資格と 「る。 点: 可)、D(0点~59	こして授業実施の	の出席率80%以」	上を要件としてい
使用	教材	各担当による						
授業を		各授業実施前後の予習と復習の)徹底をする					
学期	ターム	項目		内容•準備資料等				
	1	オリエンテーション		授業の目的、使 明。授業選択。	用教材についての	の理解、各担当	講師から授業内	容について説
	2	選択基礎1		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	学ぶ。	
	3	選択基礎2		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	学ぶ。	
	4	選択基礎3		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	≓ふ 。	
	5	選択基礎4		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	≓ふ 。	
	6	選択基礎5		各選択授業にお		最終レポート提	是出。	
授	7	オリエンテーション		授業の目的、使 明。授業選択。	用教材についての	の理解、各担当	講師から授業内	容について説
業計	8	選択基礎1			いてそれぞれの	分野の基礎を学	 ≱ぶ。	
画	9	選択基礎2		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	≓ ぶ。	
前 期	10	選択基礎3		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	 ≱ぶ。	
	11	選択基礎4		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を学	 ≱ぶ。	
	12	選択基礎5		各選択授業にお	いて学んだことを	最終レポート扱	是出。	
	13	特別授業1		前期末最後の選	選択授業を2回で写			
	14	与一个电子的一个电子的一个电子的一个电子的一个电子的一个电子的一个电子的一个电子的		前期末最後の選	選択授業を2回で写			
	15	期末試験フィードバック						
	16	期末試験フィードバック						
履修 F (の留意点	<u> </u>		1				

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

授業計画(シラバス)(改定案)

科目	 目名	クロスオー	バーゼミⅡ		指導担	 当者名	志村、佐	上藤、渡邊	
実務	経験						実務経験:	T	
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	科学年		全学科2年	<u>.L</u>	
授業	方法	講義:		T:O		 習:	実		
単位	立数	56時間		週時間数		2₽			
学習到	達目標	・学校の特徴でもある複数分野の・授業内における複数のカリキュができ、自身の可能性と得意分質	ラムメニューから				ことで無理なく学び	びにつなげること	
	方法 基準	満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試 る。期末試験の結果、必要と認め 成績評価は、A(80点~100点:優)	検、プレゼンテー かられる場合には 、B(70点~79点:	iの他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し ゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件 場合には追試験を実施する。 点~79点:良、C(60点~69点: 可)、D(0点~59点: 不可)、の4段階評価とする。A, B, 合は不合格となり単位を喪失する。					
使用	教材	各担当による							
授業を	1学習 5法	各授業実施前後の予習と復習の)徹底をする						
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等		
	1	オリエンテーション		授業の目的、使 明。授業選択。	用教材について	の理解、各担当	講師から授業内]容について説	
	2	選択基礎1		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を	学ぶ。		
	3	選択基礎2		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を	学ぶ。		
	4	選択基礎3		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を	学ぶ。		
	5	選択基礎4		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を	学ぶ。		
	6	選択基礎5		各選択授業にお	いて学んだこと	を最終レポート技	是出。		
授	7	オリエンテーション		授業の目的、使 明。授業選択。	用教材について	の理解、各担当	講師から授業内	7容について説	
業計	8	選択基礎1			いてそれぞれの	分野の基礎を含	 学ぶ。		
画	9	選択基礎2		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を含	 学ぶ。		
後 期	10	選択基礎3		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を含	学ぶ。		
	11	選択基礎4		各選択授業にお	いてそれぞれの	分野の基礎を	 学ぶ。		
	12	選択基礎5		各選択授業にお	いて学んだこと	を最終レポート技	是出。		
	13	特別授業1		前期末最後の選	選択授業を2回で	 実施する。			
	14	特別授業2		前期末最後の選	選択授業を2回で	実施する。			
	15	期末試験フィードバック							
	16	期末試験フィードバック							
	か図立す	l .	_						

履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

		1	受業計画(シラ	バス)					
科	目名	トリミングサロン	実習	指導担	 当者名	平田	芳子		
実務	経験	ドッグトリミング	の分野で10年超の実務実	 E績がある。		実務経験:	有		
開講	時期	通年 前期・後期	対象的	学科学年	ペット	総合科 2年(選	 〖択者)		
授業	方法	講義:	演習:	演習: 実習:○ 実技:					
時	間数	通年336時間	週時間数		12	· 時間			
学習到	達目標	<科目主旨> モデル犬のトリミングを通し、トリミングション能力の向上を図る。 <到達目標> 一通りのトリミング作業を一人で出来る		る際の心構え等を	習得を図る。グ	ループ行動を通	レコミュニケー		
	方法基準	学期末試験の実施及び実習成果の評満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プロスを、期末試験の結果、必要と認められ成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70は合格として単位を認定し、D評価の対	レゼンテーションによって? る場合には追試験を実施 0点~79点:良)、C(60点~6:	行われ、受験資格と iする。 9点:可)、D(0点 [~] 59	こして授業実施(の出席率80%以上	上を要件としてい		
使用	教材	トリミング道具一式							
	小学習 方法	トリミング作業手順を予習復習							
学期	ターム	項目		内	容∙準備資料	等			
	1	復習 モデル犬実習	作業の流れ、	道具の使い方、コミ	ュニケーション	を重点指導			
	2	モデル犬実習	プードル、シー	-ズーのモデル犬カ	ット				
	3	モデル犬実習	プードル、シー	・ズー、ポメラニアン	のモデル犬カッ	ット			
	4	モデル犬実習	プードル、ヨー	クシャテリア、ダック	フスフントのモテ	・ル犬カット			
	5	モデル犬実習	プードル、チワ	ワ、マルプーのモ	デル犬カット				
	6	モデル犬実習	プードル、柴犬	さ、ゴールデンレトリ	バーのモデル	犬カット			
授	7	モデル犬実習	プードル、パピ	゚ヨン、ヨークシャテ!	Jアのモデル犬	カット			
業計	8	モデル犬実習	プードル、ポメ	ラニアン、チワワの	モデル犬カット				
迪	9	モデル犬実習	プードル、シュ	ナウザー、ペキニー	-ズのモデル犬	カット			
前 期	10	モデル犬実習	プードル、ビシ	ョンフリーゼ、ヨーク	フシャテリアのモ	=デル犬カット			
	11	モデル犬実習	プードル. ビー	 ·グル、MIX犬のモ ·	 デル犬カット				

プードル、イングリッシュセッター、シェットランドシープドッグのモデル犬カット

プードル、柴犬、ジャックラッセルのモデル犬カット

プードル、ラフコリー、ポメプーのモデル犬カット

12

14

15 16 モデル犬実習

モデル犬実習

モデル犬実習 前期反省

授業計画(シラバス) 科目名 トリミングサロン実習 指導担当者名 平田 芳子 実務経験 ドッグトリミングの分野で10年超の実務実績がある。 実務経験: 右 ペット総合科 2年(選択者) 開講時期 通年 前期・後期 対象学科学年 授業方法 演習: 実技: 講義: 実習: 〇 時間数 通年336時間 週時間数 12時間 <科目主旨> モデル大のトリミングを通し、トリミング技術の向上と動物と接する際の心構え等を習得を図る。グループ行動を通しコミュニケー 学習到達目標 ション能力の向上を図る。 学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点 満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A, B, Cの評価 評価方法 評価基準 は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 使用教材 トリミング道具一式 授業外学習 トリミング作業手順を予習復習 の方法 学期 ターム 項目 内容•準備資料等 モデル犬実習 プードル、シーズーのモデル犬カット 1 プードル、シーズー、ポメラニアンのモデル犬カット モデル犬実習 2 プードル、ヨークシャテリア、ダックスフントのモデル犬カット 3 モデル犬実習 4 モデル犬実習 プードル、チワワ、マルプーのモデル犬カット プードル、柴犬、ゴールデンレトリバーのモデル犬カット モデル犬実習 5 6 モデル犬実習 プードル、パピヨン、ヨークシャテリアのモデル犬カット 授 モデル犬実習 プードル、ポメラニアン、チワワのモデル犬カット 7 業 計 プードル、シュナウザー、ペキニーズのモデル犬カット 8 モデル犬実習 画 モデル犬実習 プードル、ビションフリーゼ、ヨークシャテリアのモデル犬カット 9 後 10 モデル犬実習 プードル、ビーグル、MIX犬のモデル犬カット 期 プードル、イングリッシュセッター、シェットランドシープドッグのモデル犬カット モデル犬実習 11 プードル、柴犬、ジャックラッセルのモデル犬カット モデル犬実習 12 モデル犬実習 プードル、ラフコリー、ポメプーのモデル犬カット 14 モデル犬実習 反省 プードル、ラフコリー、ポメプーのモデル犬カット

履修上の留意点

15 16

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

授業計画(シラバス) 科目名 トレーニング実習 Ⅱ 指導担当者名 渡辺 亮 実務経験 訓練士としてしつけ教室、災害救助犬・警察犬の育成などの業務に10年以上従事 実務経験: 有 ペット総合科 2年(選択者) 開講時期 通年 前期・後期 対象学科学年 授業方法 講義: 演習: 実習: 〇 実技: 時間数 通年336時間 週時間数 12時間 <科目主旨> 動物についての基本的なしつけや訓練の知識を総合的に養う 学習到達目標 <到達目標> へ到走口(ポン 家庭犬トレーニングインストラクターの資格を受ける事が出来る 飼い主さんへの総合的なアドバイスができる 学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点 満点で評価していく。 評価方法 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としてい る。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 評価基準 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A, B, Cの評価 は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 使用教材 日本ペット技能専門学校協会 トレーニング教科書 授業外学習 トレーニング教科書の予習復習 の方法 学期 ターム 項目 内容•準備資料等 オリエンテーション 授業の説明 1 座って「マテ」 座ってマテ「対面して離れる」 脚測行進中の座って「マテ」 2 脚測行進中の伏せて「マテ」 3 伏せて「マテ」 4 立って「マテ」 脚測行進中の視符と練習 脚測行進中の立って「マテ」 コイを教える 呼ばれてくる リードを使ったトレーニング 「コイ」から脚測定座 「コイ」 5 6 「脚側行進」 リーダーウォーク 脚測行進の視符「アトエ」 犬の引き癖を矯正する 授 行進中の「右ターン」 脚測行進中の右ターンの注意点 7 計 8 行進中の「左ターン」 脚測行進中の左ターンの注意点 画 行進中の「Uターン」 脚測行進中のUターンの注意点 9 前 10 行進中の「速さの変更」 早いペースの脚測行進 遅いペースの脚測行進 期 「ヤスメ」 11 ヤスメ姿勢 「ホエロ」 「吠えろ」と「静かに」 吠えろのトレーニング 12 「モッテコイ」1 「モッテコイ」2 モチベーションの上げ方 14 前期の反省と講評 実技試験

履修上の留意点

15 16

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

授業計画(シラバス) 科目名 トレーニング実習 Ⅱ 指導担当者名 渡辺 亮 実務経験 訓練士としてしつけ教室、災害救助犬・警察犬の育成などの業務に10年以上従事 実務経験: 有 開講時期 ペット総合科 2年(選択者) 通年 前期・後期 対象学科学年 授業方法 実技: 講義: 演習: 実習: 〇 時間数 通年336時間 週時間数 12時間 <科目主旨> 動物についての基本的なしつけや訓練の知識を総合的に養う 学習到達目標 <到達目標> へ到走口(ボン 家庭犬トレーニングインストラクターの資格を受ける事が出来る 飼い主さんへの総合的なアドバイスができる 学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点 満点で評価していく。 評価方法 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としてい る。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価 評価基準 は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 使用教材 日本ペット技能専門学校協会 トレーニング教科書 授業外学習 トレーニング教科書の予習復習 の方法 学期 ターム 項目 内容•準備資料等 「トベ」 障害飛越 掛け声のかけ方 1 「センドアウエイ」1 センドアウェイのモチベーター 2 「センドアウエイ」2 トレーニングと注意点 3 4 「遠隔操作」 スワレからタッテ フセからスワレ フセからタッテ 「嗅覚識別」 嗅覚識別と犬の本能 5 6 グットシチズン・ドック計画 ヒール リコール ステイにつて 授 KC服従トレーニング試験 KC服従トレーニング試験についての概要と説明 7 業 計 アジリティ 競技方法 説明 8 画 フライングディスク・ドック ディスタンス フリースタイル ロングスロー 用語説明 9 後 10 フライボール 協議説明 期 トレーナーとクライアント 助言の方法 クライアントとの面接 デモンストレーション 11

デモンストレーション見学

復習と確認テスト

実技試験

履修上の留意点

12

14

15 16

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

総合トレーニング

後期の反省と講評

用語確認

		授	養業計画(シラル	バス)		
科目	1名	犬学Ⅱ		指導担当者	名 坂元	; 幸江
実務	経験	動物病院にて動物看	i護師として20年超の実務		実務経験:	有
開講	時期	通年 前期・後期	対象学:	科学年	ペット総合科 2	 :年
授業	方法	講義:〇	演習:	実習:	実	·技:
時間	引数	通年56時間	週時間数		2時間	
学習到	達目標	<科目主旨> ・動物の取り扱いや日常的な管理を行う <到達目標> ・動物看護にて知識を得て、動物達へス			:Ł. 	
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価 満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレー る。期末試験の結果、必要と認められる 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点 は合格として単位を認定し、D評価の場	ゼンテーションによって行: 場合には追試験を実施す 気~79点: 良)、C(60点~69点	われ、受験資格として ⁻ る。 ā:可)、D(0点 [~] 59点:7	授業実施の出席率80%以」	上を要件としてい
使用	教材	看護学教本				
授業を	卜学習 5法	病気について予習復習				
学期	ターム	項目		内容・최	準備資料等	
	1	内科学	救急医療			
	2	内科学	中毒			
	3	内科学	出血			
	4	内科学	日射病·熱中症			
	5	内科学	ショック			
	6	内科学	輸液治療(輸液、	採血時の準備と保定	<u>:</u>)	
授	7	臨床検査学	血液検査			-
業計	8	臨床検査学	ヘマトクリット			
画	9	臨床検査学	血液塗抹標本			
前 期	10	臨床検査学	顕微鏡検査			
	11	臨床検査学	尿検査、糞便検:	 査		
	12	前期期末試験対策	復習			

復習

前期期末試験

14

15 16

前期期末試験対策

前期期末試験

授業計画(シラバス) 科目名 犬学Ⅱ 指導担当者名 坂元 幸江 実務経験 動物病院にて動物看護師として20年超の実務経験がある 実務経験: 有 開講時期 対象学科学年 ペット総合科 2年 通年 前期・後期 授業方法 講義:〇 演習: 実習: 実技: 時間数 通年56時間 週時間数 2時間 <科目主旨> ・動物の取り扱いや日常的な管理を行う為の応用知識の習熟を目指す。 学習到達目標 ・動物看護にて知識を得て、動物達へストレスがかからないように適切なケアができること。 学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点 満点で評価していく。 開末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A, B, Cの評価 評価方法 評価基準 は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 使用教材 看護学教本 授業外学習 病気について予習復習 の方法 学期 ターム 項目 内容•準備資料等 介護学 犬の老化 1 介護学 ペットの高齢化 2 介護学 高齢犬介護の心構え 3 4 介護学 高齢犬の病気 高齢犬の食餌管理 介護学 5 6 介護学 食餌の介助 授 介護学 犬の床ずれ 7

犬の痴呆症

排泄の介助

散歩の効用

介護と臭い対策

後期期末テスト

介護士と医療行為

介護動物とマッサージ、飼育者と介護士

履修上の留意点

業計

画

後期

介護学

介護学

介護学

介護学

介護学

介護学

後期期末テスト

8

9

10

11

12

14

15 16

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

		ž	受業計	†画(シラ	バス)						
科目	目名	ペット総合演習Ⅰ	I		指導担	当者名	佐藤	美希子			
実務	経験			<u>'</u>			実務経験:				
開講	時期	通年 前期・後期		対象学科	4学年		ペット総合科 2	2年			
授業	方法	講義:	演習	:O	実	習:	美	€技:			
時間	間数	56時間	224/14/32								
学習到	達目標	就職に向けて実践的な知識や技術を身に着ける ①受付係:トリミング実習の際、受付をし、お客様、 ②会計係: サロン実習の際、お客様から料金をお ③消耗品管理、掃除係: ベット総合科で使用してし ④SNS/掲示板係: 実習の様子やカットの仕上がし の掲示物(新聞やベット自慢等) を作成する。 ⑤オープンキャンパス係:オープンキャンパスの与	からのオータ 預かりし、領 いる用品の名 りの写真など	デーを聞いたり、犬を 収書を渡す。また、そ E庫をチェックし、補充 、PT総合科インスタク	その日の売り上げた としたいものを担任 グラムに投稿する。	に報告する。また、 。また、教室内と廊 ⁻	教室、実習室のごみ持 下の掲示板にPT総合	栓 アを出当する			
評価評価	方法基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレる。期末試験の結果、必要と認められる成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70は合格として単位を認定し、D評価の場	ゼンテーシ 場合には 点~79点: <u>F</u>	/ョンによって行れ 追試験を実施す <i>。</i> 复)、C(60点~69点	っれ、受験資格 る。 : 可)、D(0点 [~] 5	として授業実施	の出席率80%以上	上を要件としてい			
使用	教材	筆記用具、PC等									
授業を	小学習 方法	グループ内で共有したい情報や、学科内	内に発信し	たい情報などを	考える。						
学期	ターム	項目			ı	内容•準備資料	斗等				
		オリエンテーション		- 年間の授業の	売れや目的の ³	田柳 ガループダ					
	1			十回の汉未の			編成(5グループ)				
	2	各班での活動			5つのグループ	にわかれ、各自		持つ。1~2か月ご			
	•			・1, 2年生合同の とのローテーション	5つのグルーフ ンで係を変えて	にわかれ、各自 いく。					
	2	各班での活動	(・1,2年生合同の とのローテーション ○初回なので改割	5つのグルーフ ンで係を変えて 善ポイント、よく	にわかれ、各自いく。 できたポイント等	担当の係を受け	3 .			
	2	各班での活動 各班での活動1-1	(・1,2年生合同の とのローテーション ○初回なので改割	5つのグループ ンで係を変えて 善ポイント、よく 班ごとに話合い	にわかれ、各自いく。 できたポイント等 できし、発表に向	担当の係を受け 等随時まとめさせる けて準備をする。	3 .			
	2 3 4	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2	(·1, 2年生合同の とのローテーション ○初回なので改き ○まとめをもとに3 ○学科内だけでな	5つのグループ ンで係を変えて 善ポイント、よく 班ごとに話合い なく、学外の人の	にわかれ、各自いく。 できたポイント等 できし、発表に向 の目を意識してえ	担当の係を受け 等随時まとめさせる けて準備をする。	3 .			
授	2 3 4 5	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3	(0)	・1,2年生合同の とのローテーション ○初回なので改善 ○まとめをもとに ○学科内だけでな トリミングサロンえ 各班、活動の中で	5つのグルーフ ンで係を変えて	にわかれ、各自いく。 できたポイント等をし、発表に向の目を意識している。 る方による、現在と、反省点をまと	担当の係を受け 等随時まとめさせる けて準備をする。 活動をする。 主のペット業界にない。 とめ報告する。次の	3 .			
業計	2 3 4 5	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3 特別授業(外部企業による講演)		・1,2年生合同の とのローテーション ○初回なので改き ○まとめをもとに ○学科内だけでな	5つのグルーフ レで係を変えて 善ポイント、よく 班ごとに話合い なく、学外の人の お経営している ごうまくいったこ 回からの活動	にわかれ、各自いく。 できたポイント等 かをし、発表に向 の目を意識してうる方による、現在 と、反省点をまる の計画をたてる	担当の係を受け 等随時まとめさせる けて準備をする。 活動をする。 生のペット業界につき とめ報告する。次の。	る。			
業	2 3 4 5 6 7	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3 特別授業(外部企業による講演) 報告会1、引継ぎ、準備		1,2年生合同のとのローテーション ○初回なので改き ○まとめをもとに ○学科内だけでな トリミングサロンえ 各班、活動の中で それを引継ぎ、次 ○各般の発表を 5	5つのグルーフ レで係を変えて 善ポイント、よく 班ごとに話合い なく、学外の人の お経営している ごうまくいったこ 回からの活動 受けて注意する	にわかれ、各自いく。 できたポイント等かをし、発表に向の目を意識してうる方による、現在と、反省点をまとの計画をたてる。	担当の係を受け 等随時まとめさせる けて準備をする。 活動をする。 生のペット業界につき とめ報告する。次の。	る。 ついての講演 の担当になる班は			
業計	2 3 4 5 6 7 8	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3 特別授業(外部企業による講演) 報告会1、引継ぎ、準備 各班での活動2-1		1,2年生合同のとのローテーション ○初回なので改き ○まとめをもとに ○学科内だけでな トリミングサロンえ 各班、活動の中で それを引継ぎ、次 ○各般の発表を 5	5つのグルーフンで係を変えてきポイント、よく 班ごとに話合い なく、学外の人の お経営している でうまくいったこう 回からの活動 受けて注意する 班ごとに話合い	にわかれ、各自いく。 できたポイント等かをし、発表に向の目を意識してうる方による、現在と、反省点をまるの計画をたてるのポイントを意識がある。	担当の係を受け 等随時まとめさせる けて準備をする。 活動をする。 主のペット業界にない。 との報告する。次の して活動をする。 して活動をする。	る。 ついての講演 の担当になる班は			
業計画前	2 3 4 5 6 7 8	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3 特別授業(外部企業による講演) 報告会1、引継ぎ、準備 各班での活動2-1 各班での活動2-2		1. 2年生合同のとのローテーション ○初回なので改き ○まとめをもとに ○学科内だけでな トリミングサロンス 各れを引継ぎ、次 ○各般の発表を ○まとめをもとに ○学科内だけでな	5つのグループンで係を変えて ・ポイント、よく ・好ごとに話合い ・よく、学外の人の ・お経営してい。 ・うまくいったこ。 回からの活動 ・受けて注意する ・好ごとに話合い ・ボール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	にわかれ、各自いく。 できたポイント等かをし、発表に向の目を意識している方による、現をといる。 る方による点をまるの計画をした、発表に向いまし、発表に向いる。 できたの計画をし、発表に向いている。 できたで意識している。 できたで意識している。 できた。	担当の係を受け 学随時まとめさせる けて準備をする。 活動をする。 主のペット業界にできる。 との報告する。次の して活動をする。 けて準備をする。 けて準備をする。 との報告する。次の	る。 ついての講演 の担当になる班は			
業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3 特別授業(外部企業による講演) 報告会1、引継ぎ、準備 各班での活動2-1 各班での活動2-2 各班での活動2-3		1,2年生合同のとのローテーション のローテーション の初回なので改き のまとめをもとに の学科内だけでな トリミングサロンス 各班、活引継ぎ、へ の各般の発表を のまとめをもとに の学科内だけでな それを のまとめをもとに の学科内だけでな 各で の学科内だけでな 各で の学科内だけでなる の学科内だけでなる という	5つのグループ シで係を変えて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	にわかれ、各自いく。 できたポイント等かをし、発表に向の目を意識している方による点をできたがある。 る方による点をできながれていた。 と、計画をたて意識がをし、発表に向いた。 の計画を変したできない。 からいたでは、 のからにより、 できない。 できない。 できない。 できたできる。 できない。 とっと。 できない。 とっと。 とっと。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と	担当の係を受け 学随時まとめさせる けて準備をする。 活動をする。 主のペット業界にできる。 との報告する。次の して活動をする。 けて準備をする。 けて準備をする。 との報告する。次の	る。 ついての講演 の担当になる班は の担当になる班は			
業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3 特別授業(外部企業による講演) 報告会1、引継ぎ、準備 各班での活動2-1 各班での活動2-2 各班での活動2-3 報告会2、引継ぎ、準備		1,2年生合同のとのローテーション のローテーション の初回なので改き のまとめをもとに の学科内だけでな トリミングサロンス 各班、活引継ぎ、へ の各般の発表を のまとめをもとに の学科内だけでな それを のまとめをもとに の学科内だけでな 各で の学科内だけでな 各で の学科内だけでなる の学科内だけでなる という	5つのグループンで係を変えてきポイント、よく 好ごとに話合いなく、学外の人の お経営していた。 うまくいった意 受けて注意合い なく、学外の人の であまする。 ができまな。 ができまな。 ができまな。 ができまな。 ができまな。 ができまな。 ができな。 ・ ができな。 ができな。 ができな。 ができな。 ができな。 ができな。 ができな。 ができな。 ができな。 ・ ができな。 ・ ができな。 ができな。 ・ ができな。 ・ ができな。 ・ ができな。 ができな。 ・ がでをな。 ・ がでをでをな。 ・ ・ がでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでを	にわかれ、各自いく。できたポイント等でをし、発表に向り目を意識している方に省をしたできた。 る方に省をしたできた。 る方に省をたて意い。 の計・をし、発表に向りまる。 のは、発表に向りまる。 のは、発表に向りまる。 のは、発表に向りまる。 のは、発表に向いる。 のは、発表に向いる。 のは、発表に向いる。 のは、発表に向いる。 のは、発表に向いる。 のは、発表に向いる。 のは、発表に向いる。 のは、発表に向いる。 のは、発表に向いる。	担当の係を受け にはいる。 にはい。 にはい。 にはいる。 にはい。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 には、 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 には、 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 には、	る。 ついての講演 の担当になる班は の担当になる班は			
業計画前	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	各班での活動 各班での活動1-1 各班での活動1-2 各班での活動1-3 特別授業(外部企業による講演) 報告会1、引継ぎ、準備 各班での活動2-1 各班での活動2-2 各班での活動2-3 報告会2、引継ぎ、準備 各班での活動3-1		・1,2年生合同のとのローションの口のなので改きの口のなので改きのまとめをもとにいいます。 マッカー アンカー アンカー アンカー アンカー アンカー アンカー アンカー アン	5つのグループンで係を変えてきポイント、よく 班ごとに話合い なく、学外の人の お経ざいったこ 回からの意する 班ごとに話合い よく、学外の人の おいの活動 受けて注話合い なく、学外の人の でうまくいったこ動 のがらの話合い なく、学外の人の でうまならの話合い なく、学外の人の でうまならの話合い なく、学外の人の でうまならのださい。 できないったこ動 のがらいったこ動 のがらいったこも、	にわかれ、各自いく。できたポイント等でし、発表にしていると、発表にしていると、計画のポイン、発意 識点をたき まにしたを 表にしたを 表にしたを 表にしたを 表にしたを まにした 発意 強をを 表にした できる いき しょきる 向いる しょう	担当の係を受け 等随時まとめさせる けて準備をする。 活動をする。 主のペット業界についます。 して活動をする。 して準備をする。 けて準備をする。 は動報告する。次の けて準備をする。 はあいない。	る。 ついての講演 の担当になる班は の担当になる班は になる班は			

履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

期末試験フィードバック

			授業詞	計画(シラ	バス)			
——— 科E	 ∃名	総合演習	 習Ⅱ			 3当者名	佐藤	 美希子
実務	経験						実務経験:	
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	 科学年			 2年
授業	方法	講義:	演習	i:O	実	'習:	身	€技:
時間	間数	56時間		週時間数		2	.時間	
学習到	達目標	就職に向けて実践的な知識や技術を ①受付係:トリニング実習の際、受付を ②会計係:サロン実習の際、お客様か 務局に渡す。 ③消耗品管理、掃除係:ペット総合科 を担当する。 ④SNS/掲示板係:実習の様子やカット 事に関する内容の掲示物(新聞やペッ ⑤オープンキャンパス係:オープンキャ	し、お客様からい ら料金をお預か で使用している用 の仕上がりの写 小自慢等)を作品	のオーダーを聞い りし、領収書を渡 用品の在庫をチェン 写真など、PT総合 或する。	す。また、その日()クし、補充したい 斗インスタグラム(の売り上げの確認 ものを担任に報告 こ投稿する。また、	まする。また、教室、 教室内と廊下の掲	実習室のごみ捨て 引示板にPT総合科の
	方法基準	学期末試験の実施及び実習成果の 点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、 る。期末試験の結果、必要と認めの 成績評価は、A(80点~100点:優)、 は合格として単位を認定し、D評価	、プレゼンテー: られる場合には B(70点 [~] 79点:	ションによって行 t追試験を実施す 良)、C(60点 [~] 69)	ー われ、受験資格 ⁻る。 点:可)、D(0点⁻5	らとして授業実施 として授業実施	の出席率80%以」	上を要件としてい
使用	教材	筆記用具、PC等						
授業外		グループ内で共有したい情報や、	学科内に発信し	たい情報などを	·考える。			
0)7	方法			DIEV INTERIOR C				
学期	ラ法 ターム	項目		STEV THATE OF		内容•準備資料	科等	
		項目 前期振り返りと後期の目標設定					斗等 目標と計画を立て	てる。
	ターム			各班ごとに前期	の振り返りをし、	こうきの活動の		C る。
	ターム	前期振り返りと後期の目標設定		各班ごとに前期	の振り返りをし、	こうきの活動の	目標と計画を立て	
	ターム 1 2	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1		各班ごとに前期 〇各般の発表を 〇まとめをもとい	の振り返りをし、 受けて注意する -班ごとに話合い	こうきの活動の	目標と計画を立てして活動をする。けて準備をする。	
	3 — Д 1 2 3	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2		各班ごとに前期 〇各般の発表を ○まとめをもとい ○学科内だけて 各班、活動の中	の振り返りをし、 受けて注意する -班ごとに話合い なく、学外の人 でうまくいったこ	こうきの活動の るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識して	目標と計画を立てして活動をする。 けて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次	
	ターム 1 2 3 4	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3		各班ごとに前期 〇各般の発表を ○まとめをもと ○学科内だけて 各班、活動の中 それを引継ぎ、	の振り返りをし、 受けて注意する -班ごとに話合し なく、学外の人 でうまくいったこ 欠回からの活動	こうきの活動の るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識してご と、反省点をまる の計画をたてる	目標と計画を立てして活動をする。 けて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次	
学期	1 2 3 4 5	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備		各班ごとに前期 ○各般の発表を ○まとめをもと ○学科内だけて 各班、活動の中 それを引継ぎ、 ○各般の発表を	の振り返りをし、 受けて注意する 班ごとに話合いなく、学外の人でうまくいったこ 欠回からの活動 受けて注意する	こうきの活動の るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識してごと、反省点をまる の計画をたてる るポイントを意識	目標と計画を立て して活動をする。 けて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次。	の担当になる班は
学期 授業計	ターム 1 2 3 4 5 6	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備 各班での活動5-1		各班ごとに前期 〇各般の発表を ○まとめをもとい ○学科内だけて 各班、活動の中 それを引継ぎ、 ○各般の発表を ○まとめをもとい	の振り返りをし、 一受けて注意する 一班ごとに話合い でうまくいったこ 欠回からの活動 一受けて注意する 一班ごとに話合い	こうきの活動の るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識してごと、反省点をまる の計画をたてる るポイントを意識	目標と計画を立てして活動をする。けて準備をする。 活動をする。 とめ報告する。次。 して活動をする。	の担当になる班は
学期 授業計画	ターム 1 2 3 4 5 6 7	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備 各班での活動5-1 各班での活動5-2		各班ごとに前期 ○各般の発表を ○まとめをもとい ○学科内だけて 各班、活動の中 それを引継ぎ、 ○各般の発表を ○まとめをもとい ○学科内だけて 各班、活動の中	の振り返りをし、 ・受けて注意する ・班ごとに話合い なく、学外の人でうまくいったこ 欠回からの活動・ ・受けて注意する ・班ごとに話合い ・なく、学外の人でうまくいったこ	こうきの活動の るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識してごと、反省点をま。の計画をたてる るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識してごと、反省点をま	目標と計画を立てして活動をする。けて準備をする。 けて準備をする。 活動をする。次。 して活動をする。次。 して活動をする。 けて準備をする。 けて準備をする。 とめ報告する。次	の担当になる班は
学期 授業計	ターム 1 2 3 4 5 6 7 8	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備 各班での活動5-1 各班での活動5-2 各班での活動5-3		各班ごとに前期 〇各般の発表を 〇まとめをもとい 〇学科内だけて 各班、活動の中 それを引継ぎ、 〇各般の発表を 〇まとめをもとい 〇学科内だけて 各班、活動の中 それを引継ぎ、	の振り返りをし、 受けて注意する 班ごとに話合いなく、学外の人でうまくいったこ 欠回からの活動・受けて注意する 班ごとに話合いなく、学外の人でうまくいったこ なく、学外の人でうまくいったこ 欠回からの活動	こうきの活動の るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識してごと、反省点をまる の計画をたてる るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識してご と、反省点をまるの計画をたてる	目標と計画を立てして活動をする。けて準備をする。 けて準備をする。 活動をする。次。 して活動をする。次。 して活動をする。 けて準備をする。 けて準備をする。 とめ報告する。次	の担当になる班は
学期 授業計画 後	ターム 1 2 3 4 5 6 7 8 9	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備 各班での活動5-1 各班での活動5-1 各班での活動5-2 各班での活動5-3 報告会5、引継ぎ、準備		各班ごとに前期 ○各般の発表を ○まとめをもとい ○学科内だけて 各班、活引継ぎ、 ○各般の発表を ○まとめをもとい ○各般の発表を ○まとめをもとい ○学科内だけて 各班、活動の中 それを引機である。	の振り返りをし、 受けて注意する 一班ごとに話合い なく、学外の人でうまくいったこ数 で受けて注意する 一班ごとに話合い なく、学外の人でうまくいったこ数 ででうまくいったこ数 で受けて注意する	こうきの活動の るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識してごと、反省点をまる の計画をたてる るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識してご と、反省点をまる の計画をたてる るポイントを意識	目標と計画を立て して活動をする。 けて準備をする。 き動をする。と いて活動をする。 して準備をする。 けて準備をする。 とめ報告する。	の担当になる班は
学期 授業計画 後	ターム 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備 各班での活動5-1 各班での活動5-2 各班での活動5-3 報告会5、引継ぎ、準備		各班ごとに前期 〇各般の発表を 〇まとめをもとい 〇学科内だけて 各班、活引継ぎ、 〇まとめをもとい 〇学科内だけて 各班、活引継ぎ、 〇まとめをもとい 〇学科内だけて 各班、活引継ぎ、 〇まとめをもとい 〇学科内だけて 〇各般の発表を	の振り返りをし、 受けて注意する ごとに話合いなく、学外の人でうまくいったご 欠回からでうまくいったご で回からできない。 でうまくいったご でのからの活動 でりまくいったご でのからのの活動 でして注意する でいったご でいったご でいったご でいったこ	こうきの活動の るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識してごと、反省点をまる の計画をたてる るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識してご と、反省点をまる の計画をたてる るポイントを意識	日標と計画を立てして活動をする。けて準備をする。とめ報告する。次のに活動をする。けて準備をする。といるは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の担当になる班は
学期 授業計画 後	ターム 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備 各班での活動5-1 各班での活動5-2 各班での活動5-3 報告会5、引継ぎ、準備 各班での活動6-1 各班での活動6-1		各班ごとに前期 〇各般の発表を 〇まとめをもとい 〇学科内だけて 各れたのの中では、 〇学科内がはいるのでは、 ○学科内がはいるのでは、 ○学科のはいるのでは、 ○学科のは、 ○学科内がはいるのでは、 ○学科内がはいるのでは、 ○学科のはいるのでは、 ○学科のはいるのでは、 ○学科のは、 ○学科	の振り返りをし、 受けて注意する 一班ごとに話合い なく、学外の人 で欠回かて注話合い で欠けてこまする 一班なく、学外のたま動 で欠回かて注話合い なく、学外のたま動 で欠回がて注話合い で欠回がて注話合い で欠けてとに話合い で欠けてといるででかったす。 で欠けているでなく、学外の人 で欠けてといるできまする。	こうきの活動の るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意識を含またで の計画とたて意識 いをし、発表に向 の目を意識を表して るポイントを意識 の計画をたて の計画をたて の計画をたて の計画をたて の計の計の のよの計の のよのに のよのに のよの のは のよの のは のは のは のは のは のは のは のは のは のは のは のは のは	目標と計画を立てして準備をする。けて準備をする。というでは、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の担当になる班は
学期 授業計画 後	ターム 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備 各班での活動5-1 各班での活動5-2 各班での活動5-3 報告会5、引継ぎ、準備 各班での活動6-1 各班での活動6-1 各班での活動6-2 各班での活動6-3 報告会6(後期振り返り)、引継ぎ、 一年間の振り返り	準備	各班ごとに前期 〇各般の発表を 〇まとめをもとい 〇学科内がです。 〇まとれの発表を 〇まとれのがです。 〇まとれの発表を 〇まと科内がです。 〇まと科内動継が、 〇まと科ののでは、 〇字班、をもとい 〇字班、をもとい 〇字班、をもとい 〇字班、をはい 〇字・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の振り返りをし、受けて注意するとにいる。 でかったますででは、 学いのできまるにない。 でのはないのでは、 学いのでは、 でのはないのでは、 学いのでは、 でのはないのでは、 学いのでは、 学いののでは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、	こうきの活動の るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意点をなる。 るポイントを意識 いたし、発表に向 の目を意当なたで の目を意当点をで るポイントを意識 いたし、発表に向 の目を高点をで るポイントを意じる。 いたし、発表に向 の目を意当点をで るポイントを意じる。 いたし、発表に向 いた。 の目を意当をを いた。 の目を言いまる。 いた。 の目を意となる。 の目を表表に向 いた。 の目を意となる。 いた。 の目を意となる。 いた。 の目を意となる。 のこと、 のこと、 のこと、 のこと、 のこと。 のこと、 のこと。 のこと。 のこと。 のこと。 のこと。 のこと。 のこと。 のこと。	目標と計画を立てして活動をする。 けて準備をする。 とめ、 このでは、 にのでは、 にのでは	の担当になる班はの担当になる班は
学期 授業計画 後	ターム 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	前期振り返りと後期の目標設定 各班での活動4-1 各班での活動4-2 各班での活動4-3 報告会4、引継ぎ、準備 各班での活動5-1 各班での活動5-2 各班での活動5-3 報告会5、引継ぎ、準備 各班での活動6-1 各班での活動6-1 各班での活動6-2 各班での活動6-3 報告会6(後期振り返り)、引継ぎ、	準備	各班ごとに前期 〇各般の発表を 〇まとめをもとい 〇学科 活引継発表を 〇学科 活引継発表を 〇学 各れを般のをもとい 〇学班 活引継発表を 〇学班 活引継発表を 〇学班 活引継発表を 〇学班 活引継光ののき、表を 〇学班 大きののき、表を 〇学班 大きののき、表を 〇学班 大きののき、表を 〇学班 大きののき、表を 〇学田 大きののき、表を 〇学田 大きののき、表を 〇学田 大きののき、表を 〇学田 大きののき、表を 〇学田 大きののき、表を	の振り返りをし、受けて注意するとになく、学外の方言するで欠回けてとに「学へいの意意」を「学へいの意意」を「学へいの意意」を「学へいの意意」を「学へいの意意」を「学へいの意意」を「学へいの反響」を「学へいの反響」を「学へいるのので変更」を「学ので変更」を「学へいる」を「学ので変更」を「学んので、例表し、「学んので、例表し、「学んので、例を、例を「学んので、例を、例を「学んので、例を、例を、例を、例を、例を、例を、例を、例を、例を、例を、例を、例を、例を、	こうきの活動の るポイントを意識 いをし、発表に向 の目を意点をなる。 るポイントを意識 いたし、発表に向 の目を意当なたで の目を意当点をで るポイントを意識 いたし、発表に向 の目を高点をで るポイントを意じる。 いたし、発表に向 の目を意当点をで るポイントを意じる。 いたし、発表に向 いた。 の目を意当をを いた。 の目を言いまる。 いた。 の目を意となる。 の目を表表に向 いた。 の目を意となる。 いた。 の目を意となる。 いた。 の目を意となる。 のこと、 のこと、 のこと、 のこと、 のこと。 のこと、 のこと。 のこと。 のこと。 のこと。 のこと。 のこと。 のこと。 のこと。	目標と計画を立てして準備をする。けて準備をする。けて準備をする。といった。といったでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まず	の担当になる班はの担当になる班はの担当になる班は

| '- | 履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない ※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

		‡ŧ	受業計画(シラバ	(ス)			
∓ 11 F	 			-	学 夕	/ + 茯	知って
	目名 	ペット飼養応用学		指導担当 	有名 ————	佐藤	
	· 経験		ンで3年以上の実務経験があ		ا د ۵۰	実務経験:	有
	時期	通年 前期・後期	対象学科:			総合科 2年(選	
	方法 ——— 間数	講義:○ 56時間	演習:	実習		実担 	文:
学習到	達目標	<科目主旨> ・動物についての理論的かつ科学的に ・社会のニーズに対応できる実践的応用	理解を深め、専門的知識を高	高める。	<u> </u>		
	方法	学期末試験の実施及び実習成果の評価 満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレ る。期末試験の結果、必要と認められる 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70) は合格として単位を認定し、D評価の場	ゼンテーションによって行われ場合には追試験を実施する 点~79点: 良)、C(60点~69点:	れ、受験資格とし 。 可)、D(0点 [~] 59点	して授業実施の	の出席率80%以上	を要件としてい
使用	教材	筆記用具、PC					
	朴学習 方法	ペット飼養に関する関心を高める					
学期	ターム	項目		内容	字•準備資料	等	
	1	オリエンテーション	1年間で学んでいく	内容についての	確認、関心の	ある問題について	て共有
	2	食事の重要性①	ペット飼養において	の食事に関する	る知識を深める	5	
	3	食事の重要性②					
	3	食事の重要性② 基礎栄養①	動物栄養学につい	て基本的なこと	を学ぶ		
			動物栄養学につい	て基本的なこと	を学ぶ		
	4	基礎栄養①	動物栄養学につい		を学ぶ		
授	4 5	基礎栄養① 基礎栄養②			を学ぶ		
業 計	4 5 6	基礎栄養① 基礎栄養② フードの種類①		て学ぶ	を学ぶ		
業	4 5 6 7	基礎栄養① 基礎栄養②	ペットフードについ	て学ぶ	を学ぶ		
業計画前	4 5 6 7 8	基礎栄養① 基礎栄養② フードの種類① フードの種類② 介護期の食事について①	ペットフードについ	て学ぶ	を学ぶ		
業 計 画	4 5 6 7 8	基礎栄養① 基礎栄養② フードの種類① フードの種類② 介護期の食事について① 介護期の食事について②	ペットフードについて介護期の犬の食事	て学ぶ	を学ぶ		
業計画前	4 5 6 7 8 9 10	基礎栄養① 基礎栄養② フードの種類① フードの種類② 介護期の食事について① 介護期の食事について② 介護犬についての理解①	ペットフードについて介護期の犬の食事	て学ぶについて学ぶ解を深める	を学ぶ		
業計画前	4 5 6 7 8 9 10 11	基礎栄養① 基礎栄養② フードの種類① フードの種類② 介護期の食事について① 介護期の食事について② 介護犬についての理解① 介護犬についての理解② 介護期の運動①	ペットフードについて 介護期の犬の食事 介護犬に対する理	て学ぶについて学ぶ解を深める	を学ぶ		
業計画前	4 5 6 7 8 9 10	基礎栄養① 基礎栄養② フードの種類① フードの種類② 介護期の食事について① 介護期の食事について② 介護犬についての理解① 介護犬についての理解②	ペットフードについて 介護期の犬の食事 介護犬に対する理	て学ぶについて学ぶ解を深める	を学ぶ		

		:	授業計画(シラ	バス)			
科目	1名	ペット飼養応見	用学	指導扣	当者名	佐藤	9子
	- I 経験		 			実務経験:	 有
開講	時期	通年 前期・後期	1	 科学年	ペット	·総合科 2年(選	
授業	 方法	講義: 〇	L 演習:		 習:	実技	 ξ:
時間	 引数	56時間	週時間数		28	 寺間	
学習到	達目標	<科目主旨> ・動物についての理論的かつ科学的 ・社会のニーズに対応できる実践的応		を高める。			
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の記満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プ る。期末試験の結果、必要と認められ 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(7 は合格として単位を認定し、D評価の	レゼンテーションによって行 る場合には追試験を実施す 70点~79点:良)、C(60点~69)	われ、受験資格 「る。 点:可)、D(0点~5	として授業実施	の出席率80%以上	を要件としてい
使用	教材	筆記用具、PC					
授業を	↑学習 5法	ペット飼養に関する関心を高める					
学期	ターム	項目		Д	容・準備資料	等	
	1	オリエンテーション	前期振り返り、後	後期の内容につい	ハて		
	2	猫のトリミングについて①	猫のグルーミン	ガーレロン、 <i>ガロー</i>			
	•		= 1	ク、トリミングに、	いて学ぶ(種類	について)	
	3	猫のトリミングについて②	猫のグルーミン			について)	いて)
	4	猫のトリミングについて② 猫のトリミングについて③			いて学ぶ(作業	方法と注意点につ	いて)
			猫のグルーミン	グ、トリミングにつ	ついて学ぶ(作業	方法と注意点につ	いて)
	4	猫のトリミングについて③	猫のグルーミン愛玩犬を飼養す	グ、トリミングにつ	Dいて学ぶ(作業 Dいて学ぶ(注意 を学ぶ	方法と注意点につ	いて)
授	4 5	猫のトリミングについて③ 愛玩犬との向き合い方	猫のグルーミン 愛玩犬を飼養す 動物業界で働く	グ、トリミングにつ グ、トリミングにつ る上での心構え	のいて学ぶ(作業 のいて学ぶ(注意 を学ぶ を学ぶ(接客業	方法と注意点につ 点について)	いて)
業計	4 5 6	猫のトリミングについて③ 愛玩犬との向き合い方 動物業界で働くうえで①	猫のグルーミン 愛玩犬を飼養す 動物業界で働く 動物業界で働く	グ、トリミングにつ グ、トリミングにつ る上での心構え うえで大切なこと	のいて学ぶ(作業 のいて学ぶ(注意 を学ぶ を学ぶ(接客業 を学ぶ(商品理	方法と注意点につ 点について) について) 解について)	いて)
業 計 画	4 5 6 7	猫のトリミングについて③ 愛玩犬との向き合い方 動物業界で働くうえで① 動物業界で働くうえで②	猫のグルーミン 愛玩犬を飼養す 動物業界で働く 動物業界で働く	グ、トリミングにつ グ、トリミングにつ る上での心構え うえで大切なこと うえで大切なこと うえで大切なこと	のいて学ぶ(作業 のいて学ぶ(注意 を学ぶ を学ぶ(接客業 を学ぶ(商品理 を学ぶ(働くとい	方法と注意点につ 点について) について) 解について)	いて)
業計	4 5 6 7 8	猫のトリミングについて③ 愛玩犬との向き合い方 動物業界で働くうえで① 動物業界で働くうえで② 動物業界で働くうえで③	猫のグルーミン 愛玩犬を飼養す 動物業界で働く 動物業界で働く 動物業界で働く	グ、トリミングにつ グ、トリミングにつ る上での心構え うえで大切なこと うえで大切なこと うえで大切なこと	ひいて学ぶ(作業 ひいて学ぶ(注意 を学ぶ を学ぶ(接客業 を学ぶ(商品理 を学ぶ(働くとし	方法と注意点につ 点について) について) 解について)	いて)
業計画後	4 5 6 7 8 9	猫のトリミングについて③ 愛玩犬との向き合い方 動物業界で働くうえで① 動物業界で働くうえで② 動物業界で働くうえで③ 犬種理解①	猫のグルーミン 愛玩犬を飼養す 動物業界で働く 動物業界で働く 動物業界で働く 様々な犬種につ	グ、トリミングにつ グ、トリミングにつ でる上での心構え うえで大切なこと うえで大切なこと うえで大切なこと うえで大切なこと いて特徴を学ぶ いて特徴を学ぶ	のいて学ぶ(注意 を学ぶ(接客業 を学ぶ(商品理 を学ぶ(働くとし ((小型犬)	方法と注意点につ 点について) について) 解について)	
業計画後	4 5 6 7 8 9	猫のトリミングについて③ 愛玩犬との向き合い方 動物業界で働くうえで① 動物業界で働くうえで② 動物業界で働くうえで③ 犬種理解① 犬種理解②	猫のグルーミン 愛玩犬を飼養す 動物業界で働く 動物業界で働く 動物業界で働く 様々な犬種につ 様々な犬種につ	グ、トリミングにつ グ、トリミングにつ でる上での心構え うえで大切なこと うえで大切なこと うえで大切なこと うえで大切なこと いて特徴を学ぶ いて特徴を学ぶ	のいて学ぶ(注意 を学ぶ を学ぶ(接客業 を学ぶ(商品理 を学ぶ(働くとい (小型犬) (大型犬)	方法と注意点につ 点について) について) 解について) かうこと)	

 期末テスト

		授	業計画(シラ	バス)						
科目名		飼養管理士1級概論 II		指導担当者名		坂元 幸江				
実務経験		動物病院にて動物看	 経験がある		実務経験:	有				
開講時期		通年 前期·後期	科学年	学年 ペット総合科 2年(選択者)						
授業方法		講義∶○	演習:	実習:		実技:				
時間数		通年56時間	週時間数	2時間						
学習到達目標		<科目主旨> ・動物についての理論的かつ科学的に理解を深め、専門的知識を高める。 ・社会のニーズに対応できる実践的応用力を身につける。 ・愛玩動物を扱う者として、必要な法律の知識を習得し、広く普及啓発を行えるようにする。								
評価方法 評価基準		学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点 満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A, B, Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。								
使用教材		愛玩飼養管理士1級 教本上下								
授業外学習 の方法		教科書の予習復習 課題報告問題を解く								
学期	ターム	項目		内容·準備資料等						
	1	オリエンテーション	授業説明、使用	授業説明、使用教材についての理解						
授業計画 前期	2	第1編 動物愛護論 Ⅱ	第1章 日本にお	第1章 日本における動物愛護運動のおこり						
	3		第2章 第二次廿	第2章 第二次世界大戦後の動物愛護運動						
	4		第3章 動物愛語	第3章 動物愛護の今後の展望						
	5	第皿編 動物の行動と社会	第1章 動物と法	第1章 動物と法律						
	6		第2章 飼養動物	物と関係法令						
	7		第3章 野生動物	第3章 野生動物と関係法令						
	8	動物の行動と社会	第1章 行動とは	第1章 行動とは何か、社会とは何か						
	9		第2章 行動の近	第2章 行動の進化・第3章 行動の自然選択						
	10		第3章 ライフス	章 ライフステージと栄養・第4章						

第4章犬と猫のペットフードの進展

問題集1~50

問題集50~100

期末テスト

11

12

14

15 16 課題報告問題

期末テスト

授業計画(シラバス) 科目名 飼養管理士1級概論Ⅱ 指導担当者名 坂元 幸江 実務経験 ペットショップ、ドッグトレーニングを2年超の実務実績がある。 実務経験: 右 開講時期 ペット総合科 2年(選択者) 通年 前期・後期 対象学科学年 授業方法 講義:〇 演習: 実習: 実技: 時間数 通年56時間 週時間数 2時間 <科目主旨> ・動物についての理論的かつ科学的に理解を深め、専門的知識を高める。 学習到達目標 ・社会のニーズに対応できる実践的応用力を身につける。 ・愛玩動物を扱う者として、必要な法律の知識を習得し、広く普及啓発を行えるようにする。 学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポートの提出状況などを点数配分し、100点 満点で評価していく。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A, B, Cの評価 評価方法 評価基準 は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 使用教材 愛玩飼養管理士1級 教本上下 授業外学習 教科書の予習復習 課題報告問題を解く の方法 学期 ターム 項目 内容•準備資料等 第 V 編 動物の遺伝と繁殖生理 第一章 動物の遺伝 1 第二章 動物の繁殖生理 2 第VI編 動物の疾病とその予防 第1章動物の疾病とその予防 3 4 第2章犬の疾病とその予防 第3章猫の疾病とその予防 5 6 第4章その他の哺乳類の疾病とその予防 授 第5章鳥類の疾病とその予防 7

第6章爬虫類の疾病とその予防

第3章動物愛護行政と地域活動

第1章 自然環境と世界の働き

問題集101~127

第2章 自然環境と人間のかかわり

第1章人動物の共生に必要な公衆衛生の課題

第2章人と動物の共通感染症とその対策

履修上の留意点

業計

画

後

期

8

9

10

11

12

14

15 16

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

※対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

第Ⅲ編 動物の飼養管理と公衆衛生

第四編 自然と人間

課題報告問題

授業計画(シラバス)											
科目名		卒業制作			指導担当者名		佐藤	美希子			
実務経験							実務経験:				
開講時期		後期		対象学科学年		全	全学科 卒業年次生				
授業方法		講義:	演	習:	実習:	0	実技:				
時間数		180時間		週時間数		6週/180時間					
学習到達目標		・卒業生:2年間の集大成として学んだことを発揮する									
評価方法 評価基準		・修了生:それぞれの学科の規定により定められた以上の分量、質で卒業生としての集大成となる作品制作をすることまた、学科内で行われるプレゼンテーションにて完成品を発表し、卒業修了制作展で作品展示をすること評価項目「作品の量」「作品の質」「完成度の高さ」「企画の質」「プレゼン能力」									
使用教材		それぞれの学科制作毎の規定に沿った画材、教材を使用する事									
授業外学習 の方法		制作にあたり、事前の企画・計画をそれぞれ複数の先生方と行い、チェックをもらう事									
学期	ターム (週)	授業計画 後期									
	1	作品制作開始		事前に準備していた企画・計画に沿ってそれぞれ制作にあたる							
	2	作品制作2		個別添削を行いながら制作を進めていく							
	3	作品制作3		中間発表を行い、プレゼンテーション準備と展示企画についても				ı			
				可視化していく							
	4	学科内プレゼンテーション		学科内でプレゼンテーションを実施							
				学科担任、学科非常勤講師、学科内学生全てでプレゼンテーションを聞く							
授業計画後期				・制作のポイント ・展示計画 ・プレゼン能力 ・資料の見やすさ など							
	5	発表を受けての修正と展示準備		各教室での展示計画と準備、							
				また、プレゼンテーションで受けた指摘の修正と追加制作							
	6	卒業·修了制作展		展示計画の基づき展示をし、外部の一般来場者を入れての作品発表を実施							
				・学科内の作品の見どころの紹介 ・一般来場者の対応							
				*学科内シフトにより登校							
				展示終了後は撤収と作品保管をする							
				事前に準備していた企画・計画に沿ってそれぞれ制作にあたる							
		履修上の留意点		個別添削を行い	ながら制作を進めていく						

履修上の留意点